

開港150周年事業推進特別委員会資料
平成 2 1 年 4 月 9 日
開港150周年・創造都市事業本部



横浜開港150周年記念テーマイベント

全体概要

開催概要

◆ 会場構成 「海」「街」「自然」が生きる、横浜の3つのエリア

「海」

ⓑ ベイサイドエリア

【会場】 横浜新港から山下公園一帯

【期間】 2009年4月28日～9月27日

「街」

Ⓜ マザーポートエリア

【会場】 横浜駅周辺から山下・山手地区

【期間】 2009年通年

「自然」

ⓓ ヒルサイドエリア

【会場】 横浜動物の森公園「ズーラシア」隣接地区

【期間】 2009年7月4日～9月27日

◆ 協会主催市民参加イベント

- ・横浜FUNEプロジェクト
- ・DO-RA-MA YOKOHAMA150
- ・横濱・開港キャンドルカフェ150



ベイサイドエリア

有 NISSAN Y150ドリームフロント
& スーパーハイビジョンシアター

有 Y150トゥモローパーク

有 Y150はじまりの森

有 有料会場

周遊会場(入場無料)

象の鼻会場

赤レンガ会場
(広場・1号館)

大さん橋会場

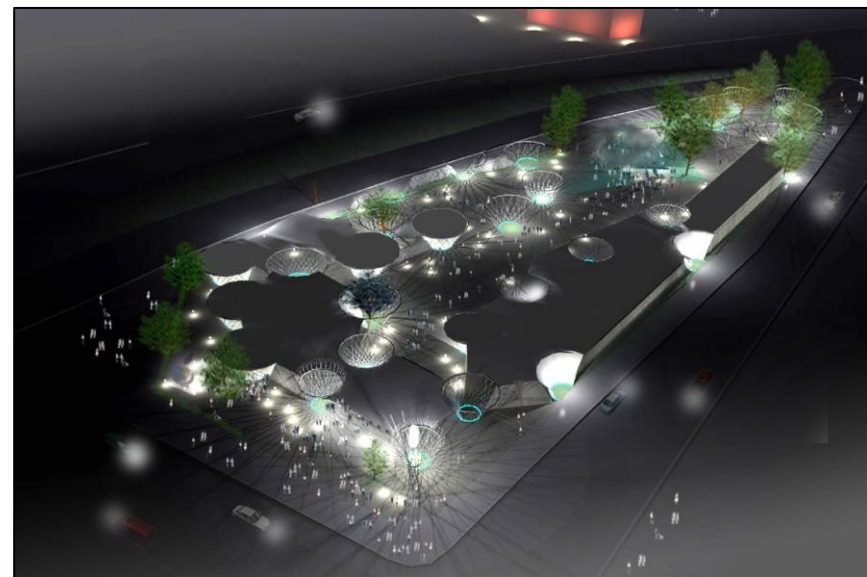
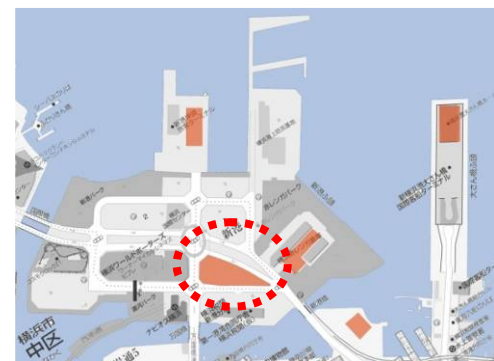
山下公園会場



Y150はじまりの森 (新港地区8街区)

ベイサイドエリア

横浜の歴史・創造都市横浜をテーマに「クリエイティブ
シティ・ヨコハマ」の未来を象徴するY150の中心的会場です。



昼はY150の中心会場ならではの賑やかな会場演出を、夜間は「**ENEOS** ナイト
ピクニック」でファンタスティックな光と影の世界を演出します。



ENEOS ラ・マシン

横浜用の新作スペクタクルが登場

高さ約12mの

【巨大なクモ】



「開国博Y150」の最大のコンテンツとして、153日間会場内で毎日活動するとともに、会期前の4月中旬にイベントも実施

←2008/9にリバプールに登場した「クモ」

横浜150年の歴史や開国・開港の時代の様子など、
横浜から始まったモノ・コトが5つのコンテンツで構成され、
開国・開港の時代へタイムスリップしたような体験型展示を展開

■横浜開港物語

横浜港の歴史を映像で紹介するシアター。横浜の先人たちの足跡をたどります。

■ペリー応接の間

応接の間や、ペリーを饗応した料理などを再現。開国・開港の時代をリアルに体験することができます。

■横浜はじめてワンダーランド

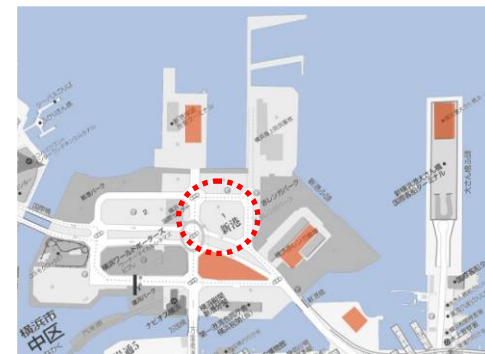
開国・開港により横浜から全国へ広がった洋食、
洋装、スポーツ、乗り物などを、見て触れる体験
型展示などで紹介します。



Y150トゥモローパーク (新港地区7街区)

ベイサイドエリア

わたしたちの明日を共感・体感できるエンターテイメントゾーンです。



岩井俊二氏プロデュースの近未来ファンタジーアニメーション『BATON』を上映する「Y150未来シアター」、さまざまなパフォーマンスイベントを展開する「屋外催事ステージ」さらに、宇宙飛行士・向井千秋氏原案・脚本による、アースバルーンのナイトショー「HOME」を展開するエンターテイメントゾーンです。



未来シアター

B A T O N



©Rockwell Eyes

宇宙旅行が可能になり、
惑星間での移民も行われるようになった
未来を舞台に、
過去から現在、そして未来へと
大切な何かを繋ぎ、残していくSFファンタジー



1話完結×3部作

(各章約20分の構成／会期中3シーズン
に分け、順次上映予定)

未来シアター B A T O N



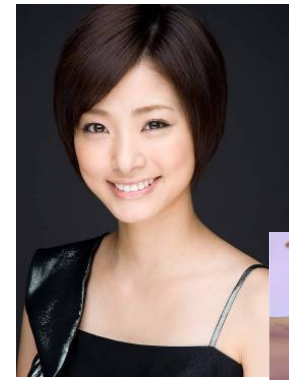
【プロデューサー・脚本】
岩井 俊二



【監督】
北村 龍平



アポロ 役
市原隼人



ミカル 役
上戸 彩



豪華キャスト陣

大杉漣、ケイン・コスギ、ミムラ、藤原竜也(特別出演)、内藤剛志、渡辺裕之、船木誠勝、桜庭和志、ムツシュかまやつ ほか

アースバルーン「HOME」 Y150トゥモローパーク
(新港地区7街区)

ベイサイドエリア

夜のベイサイドエリアにおける目玉イベント、直径約20mの 巨大バルーンに地球の映像を映し出すナイトショー



地球は全ての生命の永遠のHOME (故郷)である。いま、我々が
直面している環境問題に対して強い意思をもって行動しなければ
ならない時が来ているということを伝えます。



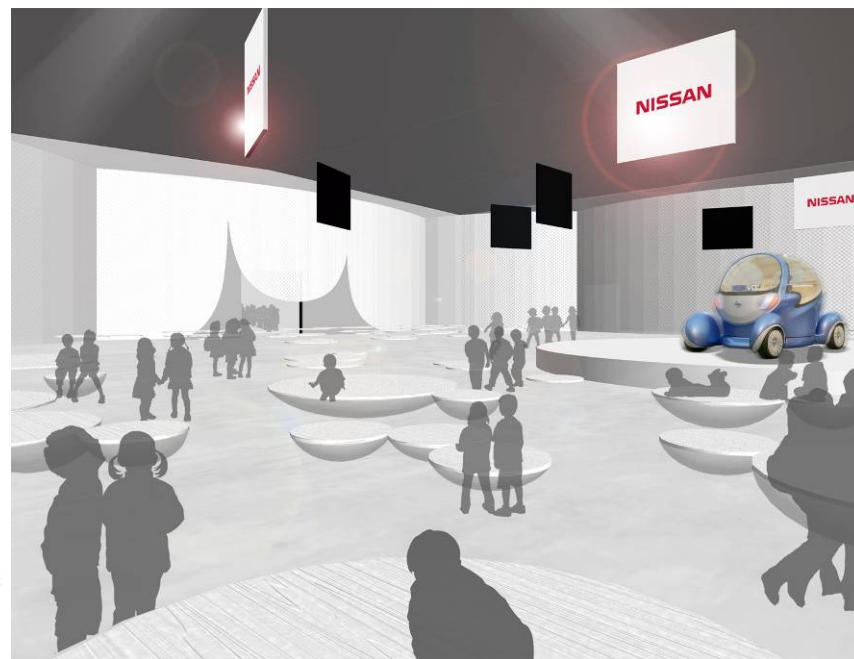
NISSAN Y150ドリームフロント & スーパーハイビジョンシアター(新港ふ頭)

ベイサイドエリア

テーマは子どもたちとを感じる未来と想像力。企業の最先端技術や取り組みを、遊びながら学べる体験型プログラムが満載。

“おもいやりにあふれた空間”

“おもいやりを感じる空間”



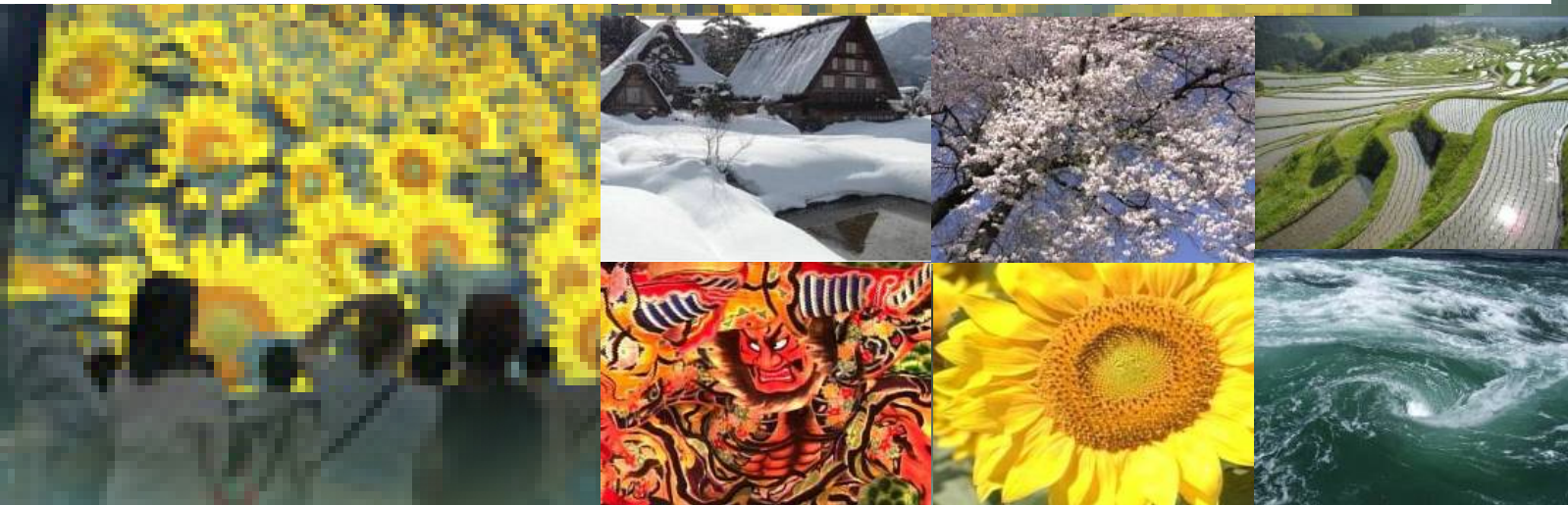
美しい地球や身近なものへの思いやりを、
NISSANの電気自動車「ピボ2」と一緒に考える。



◆スーパーハイビジョンシアター

NHKが研究開発しているスーパーハイビジョンによる、540インチの超高精細大迫力映像と立体マルチ音響による究極の臨場感

- 横浜から始まる冒険の旅。日本列島の南北へ、里山へ、空へ、宇宙へ・・・。
- テーマは「生命のつながりと多様性」。
- 日本の美しい四季の映像と最先端CGで描く、人と自然の大切な物語。



象の鼻会場

周遊会場
(入場無料)

ベイサイドエリア

黒船が立体的に浮かび上がるトリックアートや、日比野克彦アートプロデューサー監修による灯台アートワークイベントを開催します。

黒船トリックアート

世界有数のトリック・アーティスト カート・ウェナー氏が、立体的に見える黒船のトリックアートを制作(約70m²)



灯台アート

「横浜の未来を照らす灯台」をテーマにデザインを一般公募し、10基の灯台を製作・展示



バザールと国際交流

周遊会場
(入場無料)

ベイサイドエリア

(赤レンガ会場(広場))

国際交流・都市交流をテーマに、テント2棟を設営し展示・物販・飲食等を展開するほか、横浜開港150周年イメージキャラクター「たねまる」のオフィシャルショップも設置

- ①開港5ヶ国・5都市 常設展示(約100㎡)
1859年の横浜開港に深いかかわりのある、開港5ヶ国(アメリカ、オランダ、ロシア、イギリス、フランス)と、開港5都市(函館・新潟・横浜・神戸・長崎)の紹介・観光案内・シティセールス等を実施



- ②ワールドマーケット (約185㎡)
開港5ヶ国を中心とした輸入雑貨などを販売



- ③都市交流広場 (約250㎡)
横浜へつながる絹の道 物産展も開催
- ④ワールドグルメ (約400㎡)
- ⑤公式記念品ショップ(約500㎡)

外輪型蒸気帆船や海洋調査研究船など、多様な船が来港

■黒船来航イベント（山下公園会場）

山下公園に、開港当時の黒船をほうふつとさせる外輪型蒸気帆船が来航し、乗船体験プログラム、夜間ライトアップなど、様々なイベントを展開

■海洋調査船等の船内見学など

東海大学が所有する望星丸や、しんかい6500などを保有する海洋研究開発機構(JAMSTEC)の海洋調査船等多様な船の船内見学を実施

※JAMSTECとは調整中です



©HTB-T2019

**乗船や船内公開プログラムを実施し、
横浜港や船に親しむ機会を提供**



来航船舶（開国博Y150 4/28～9/27）

調査船の船内見学（海洋研究開発機構）

「よこすか」(8月)



「なつしま」(8月)



「かいいい」(9月)



「かいよう」(9月)



マザーポートエリア

「『たねまる』マップ」と「『たねまる』ポット」によりエリア内回遊を促進



エリア内回遊ルートマップ「たねまる」マップ vol.1

【配布期間】 2009年1月17日～4月27日

【概要】 横浜市民おすすめのマザーポートエリア内回遊コースや情報を満載！マザーポートエリア内で活動している団体・市民などからの意見によって作成。

【発行部数】 30万部

【配布場所】 情報ステーション「たねまるポット」、エリア内観光案内所などにて無料配布

情報ステーション「たねまる」ポット

【設置期間】 2009年1月17日～9月27日

【概要】 マザーポートエリア内の回遊の目印および情報ステーションとして、エリア内に設置。

【設置場所】 マザーポートエリア内の商店街、施設、観光スポットなど約20ヶ所(当初16ヶ所、4/28から増設予定)

Y150つながりの森

ヒルサイドエリア



日本最大級の竹の構築物「竹の海原」を中心に、
市民参加型のイベントを展開





立ち上がる150の市民創発プロジェクト

【主な市民創発プロジェクト】

- ◆ チビッコの英雄 ガキ大将づくり
～ 秘密基地をつくろう ～
- ◆ ヒルサイド棚田プロジェクト
～ 稲づくりを体験し、「食」の安全と、「農村」の保存を考えよう～
- ◆ 世界と話そう、夏休みの子どもたちへ
～ 150年後、「ガイジン」という言葉がない世の中であるように ～



横浜FUNЕプロジェクト

- 趣旨: FUNE(船)とともに発展し続ける「都市ヨコハマ」の象徴的な事業として、市民が一体となってFUNЕづくりを行うプロジェクトを推進します。
- 内容: 市内各区の区民利用施設等で横浜港の歴史を彩ってきた実際の船をモチーフにダンボール等の素材を使ったFUNЕを日比野克彦監修のもと、市民参加により150艘制作します。
- 実施スケジュール: 2007年～2008年に市内各区の区民利用施設、中学校などで制作。2009年度ベイサイドエリアに展示予定。



DO-R A-MA YOKOHAMA150 ～創合演劇プロジェクト～

- 趣旨: 国内初となる市民参加型演劇プロジェクトを展開します。
- 内容: 横浜開港という歴史的事実をあらゆる視野から見つめ、その時代に生きた「人間」に焦点をあて検証する物語をオリジナル脚本化。脚本の「種」を市民自らが調査、発掘し、アクター・アクトレス・舞台スタッフ等全て市民により舞台化します。
- 制作期間: 2006年～2009年
- 公演予定: 2009年夏から関内ホールをはじめとして、横浜市内18区を対象に公会堂などで公演予定。



横濱・開港キャンドルカフェ150 ～Road to YOKOHAMA 150 Years～

- 趣旨: 横浜ならではの舞台装置(夜景)の中できらめき輝くキャンドルの灯りが、横浜の歴史や先人たちへの想いを醸成する空間として企画。地域密着型の「港の祝祭」ムーブメント事業として、環境問題にも取り組みながら2006年より実施しています。
- 2009年は開国・開港Y150イヤーを締めくくるイベントとしてクリスマスシーズンを中心に大規模に開催予定。(2006年4000灯、2007年7000灯、2008年10000灯を予定)
- 開催場所: 日本丸メモリアルパーク、ナビオス横浜 他
- 内容: オープニングセレモニー、開港キャンドル点灯、開港Market Place 150



2009年4月28日開幕
「開国博Y150」
ご期待ください



横浜 18 区紹介デー

I 目的

横浜は港や歴史的建造物などのほか、各地域でも様々な特産品や地域の特色を活かした市民活動など、多くの魅力ある資産を有しています。

そこで、開国博 Y150 の会場（赤レンガ倉庫）において各区の魅力を紹介する「横浜 18 区紹介デー」を実施します。

150周年記念事業の象徴的なイベントである開国博 Y150において、各区民の方々が参加し、地域の特色や特産品などの PR を行うことで、市域全体で開港150周年の機運の盛り上げを図るとともに、横浜の様々な魅力を市内外に発信してまいります。

II 概要

1 屋外イベント広場

(1)期間：5/9（土）、5/10（日）の2日間

(2)時間：11時～18時

(3)内容：①物販、飲食等販売（ブース展開）

②各種ステージイベント実施（ステージ展開）

(4)出展：①10区…鶴見、西、中、南、保土ヶ谷、金沢、港北、都筑、戸塚、瀬谷

②5区…鶴見、西、中、港南、栄



2 2階ギャラリー

(1)期間：5/9（土）、5/10（日）、5/11（月）、5/12（火）、5/13（水）の5日間

(2)時間：11時～20時（5/13は11時～17時）

(3)内容：①パネル展示等（ブース展開）

②物販（ブース展開）※調理加工不可

(4)出展：①全区

②4区…神奈川、南、緑、栄

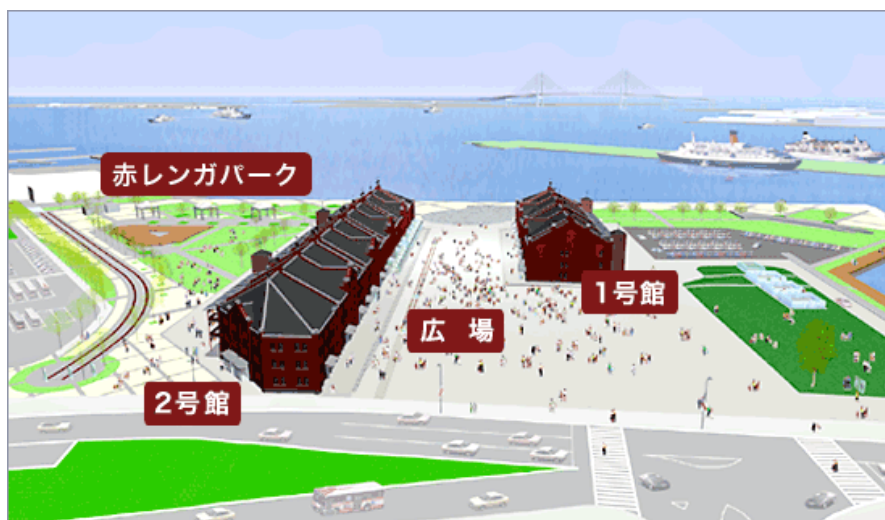
3 3階ホール

(1)期間：5/9（土）、5/10（日）、5/30（土）、6/6日（土）、6/7（日）、6/13（土）、6/14（日）、6/20（土）、6/21（日）の9日間

(2)時間：12時～20時 ※2時間から3時間を前後半に分けて2区実施

(3)内容：各種ステージイベント実施（ステージ展開）

(4)出展：15区…鶴見、神奈川、西、南、港南、保土ヶ谷、磯子、金沢、港北、青葉、都筑、戸塚、栄、泉、瀬谷



横浜18区紹介デー 実施内容について

会場	赤レンガ倉庫				ヒルサイド
	屋外イベント広場	2階ギャラリー		3階ホール	
日時	5/9(土)、5/10(日)の2日間		5/9(土)、5/10(日)、5/11(月)、5/12(火)、5/13(水)の5日間		5/9(土)、5/10(日)、5/30(土)、6/6(土)、6/7(日)、6/13(土)、6/14(日)、6/20(土)、6/21(日)の9日間
	11:00～18:00		11:00～20:00(5/13は11:00～17:00)		12:00～15:00、17:00～20:00
参加形態	希望制(ブースで物品・飲食販売)	希望制(ステージでパフォーマンス)	希望制(ブースでの展示)	希望制(ブースでの物品販売)	希望制(ステージでパフォーマンス)
	10区参加	5区参加	18区参加	4区参加	15区参加
鶴見	ブラジル料理、飲料(アルコール・ジュース)、多国籍料理、和菓子等のつまみやげを販売	5/9(土)11:00～13:00 ソング&ダンス、パコデ(南米の音楽の演奏)、沖縄伝統芸能エイサーの開催	・パネル展示 ・昭和初期の鶴見のジオラマ展示、鶴見の見どころや、鶴見の名産品等(つまみやげ)を紹介。来場者特典あり。		6/13(土)17:30～20:00「いこーぜ！！TSURUMI 見せませす☆魅せませす★鶴見の魅力満載ステージ！」 下町情緒溢れる活気ある鶴見、緑豊かで人と人とのふれ合いが温かい鶴見、外国や沖縄につながる人が多く住む多文化鶴見… そんな鶴見の魅力をたっぷりお伝えする「鶴見の魅力満載！」のステージです。
神奈川			・パネル展示 ・わが町 かながわ 50選散歩道DVDの放映	よこはま かながわ宿ブランド(味噌、醤油、ごま油やチーズケーキなど)のPR&販売	6/6(土)17:30～20:40 「かなっくシティ・音楽のまちコンサート」 神奈川区ゆかりのあるアーティストによる、ジャズとクラシックコンサートを行います。出演予定者は3組で、どのアーティストもライブやコンサートに全国で大活躍されています。
西	彦根市との交流事業の一環として同市の特産品、ひこにゃん 関連グッズなどの物販を実施	5/10(日)11:00～15:00 ひこにゃんのステージや鉄砲隊の演舞(予定)、西区民の芸能愛好家によるステージ公演、野毛山節の演奏	・パネル展示 旧東海道・保土ヶ谷道・横浜道等の歴史的な街道に沿って西区の見どころを紹介。 ・絵画コンテストの優秀賞等の展示		5/10(日)12:30～14:45 「ヨコハマ開国・開港150劇場～西区ゆかりの2劇団が公演～」 平成20年度の西区演劇祭で表彰された「かに座」・「葡萄座」が出演。宮本 研の戯曲「花いちもんめ」とチーフホフの傑作「結婚の申込」の2作品を上演します。
中	物販・飲食販売 区内商店街(元町、中華街、馬車道、伊勢佐木町、野毛等)及び中区とゆかりがあり、交流している都市(沖縄県宜野湾市、群馬県嬬恋村)等の出店	5/10(日)15:00～17:00 中国獅子舞、韓国農楽隊、タナー・コミュニティ・アンサンブル、アフリカの音楽とダンス、太鼓演奏とよさこいソーラン舞踏	～ようこそ! 開港開国の地・中区へ～ ・中区の特徴である「もののはじめ」に関するパネル紹介と展示。「もののはじめ大地図」(3.6m×2m)、初の西洋瓦であるジェラルド瓦、食肉・ビールなど横浜発信の食文化などの展示・紹介。 ・仮装した中区観光コンシェルジュのご案内。		6月6日・7日開催予定の「中区開港ルネッサンス」のステージで展開
南	洋風和菓子等、南区での横浜開港150周年の盛り上げ商品等を販売		・パネル展示 ・横浜開港150周年の記念誌の紹介(区の中央を流れる大岡川を中心に、南区の懐かしい風景を写真でまとめたもの)	横浜開港150周年記念誌や横浜開港150周年の盛り上げ商品の販売(コースター、ランチョンマット、ハンカチなど)	6/14(日)13:00～15:10 「みなみ太鼓」 横浜お囃子会に参加する6団体による笛や太鼓の演奏。祭囃子、創作和太鼓、盆太鼓など団体ごとに異なる特色の演奏が味わえます。
港南		5/9(土)15:00～17:00 ・ストリートダンス (平成21年3月28日開催のKOUNAN STREET DANCE CONTEST 2009において、入賞した4チーム(1位・2位・3位・審査員特別賞)及び企画・運営に携わった実行委員の高校生(8チーム)によるダンスを披露。)	・パネル展示(港南区の今と昔、ふるさと港南のまち自慢) ・区民活動団体のチラシ配布など		5/9(土)12:00～15:00 「ひまわりカーニバルIN赤レンガ倉庫」 横浜開港150周年・港南区制40周年を契機に、ジャズ、マーチングバンド、ストリートダンスなど、小中高生による元気で創造性豊かな子どもたちの文化が息づく港南区を発信します。
保土ヶ谷	地産地消をテーマに物販を展開 ① 黒船カレー南蛮そばの販売 ② ほどじゃが焼酎の販売 ③ 保土ヶ谷宿名物会による物販		・パネル展示 ・400年余の歴史を持つ東海道の宿場町保土ヶ谷を浮世絵・写真・映像等により紹介		6/21(日)18:00～18:00 「歌で祝う開港150周年」 子どもからお年寄りまで世代を越えた区民参加型イベントの実施(横浜にちなんだ曲などを中心に合唱や演奏) ①区内の幼稚園児から高校生による合唱 ②区内高校生によるバンド演奏 ③60代～70代の男声合唱 ④区制80周年で結成された、ほどがや区の歌合唱団による区民大合唱
旭			・パネル展示 ・旭ジャズまつりの様子を放映 ・ジャズで使う楽器等の展示		7月 ①旭区誕生40周年記念事業きらめく旭創作劇「区民ミュージカル」プロジェクトPR(予定) ・区の歴史や区民の生活・文化を取り入れたオリジナル脚本 ・公募区民(30人予定)によるダンス、歌の披露(約20分) ・製作風景の紹介(映像約10分) ②旭ジャズまつり 第20回記念! アマチュアバンドによるPR演奏(予定)
磯子			・パネル展示 ・6月13日に3階で開催する「I LOVE ISOGO PROJECT 映像×朗読パフォーマンス」で使用する映像を放映		6/13(土)12:00～15:00「I LOVE ISOGO PROJECT 映像×朗読パフォーマンス」 杉田に住む女の子「アリス」とその仲間たちが、磯子の懐かしい景色をチンチン電車に乗って大冒険。「梅」や「海」をキーワードに、朗読、音楽、映像、神輿などを交えながら、磯子区の醍醐味を伝えます。
金沢	金沢ブランド和菓子詰合、団子、大福、焼き菓子、赤飯、金沢海苔、その他佃煮、煮豆の販売。かき氷の販売。		・パネル展示 ・金沢区で進めている「キャンバスタウン・金沢(区内大学との協働・連携)」を紹介		5/30(土)13:00～15:00「金沢区民による金沢ゆかりの「能」より」 六浦セミナーおよび子供セミナーのみなさんによる謡いと仕舞①セミナーの先生：横間右陣 作 150周年にちなんだ謡い「濱綱道」の初披露②演目「六浦」称名寺ゆかりの演目、楓の精霊の話「放下僧」 瀬戸神社ゆかりの演目、兄弟で親の敵討ちの話 ③能の体験講座、ワークショップ(謡い)も開催
港北	野菜、大倉山梅づくし和菓子詰合(梅最中、梅ゼリー、梅マシュマロ、梅ケーキ等)、大倉山梅酒(梅の薫)の販売		・パネル展示 ・区制70周年を記念して制作したステンドグラスのレプリカの展示		5/10(日)18:30～20:10「ドリーム スペシャル ジャズ サウンド」 プロジャズバンド「角田健一ビッグバンド」による半年以上の継続指導を受けた、榎町中学校・日吉台中学校の吹奏楽部が演奏するエネルギーあふれるハッピージャズコンサート。指揮は角田健一氏が行います。
緑			・パネル展示(街並み、歴史、事業紹介 等)	緑区制40周年記念切手の販売(5/9、5/10のみ)	①8/2(日)緑区内各連合自治会推薦団体の踊りや唄等 ②8/3(月)緑区内各小中学校のプラスバンドや踊り、唄等
青葉			・パネ展示(街並み、歴史、事業紹介 等) ・映像による健康長寿青葉区の魅力紹介 ・体験コーナー(パソコンなんでも相談、来場記念ポストカード作成等)		6/7(日)14:00～17:00「なるほど The AOBA」 青葉区の特徴である①長寿の街AOBA②子育て世代が多いAOBA③郷土芸能を次世代に引き継ぐAOBA④ECOに取組むAOBAにちなみ、区内で活動している音楽・演劇団体が演奏・出演します。
都筑	小松菜饅頭等の販売		・パネル展示 ・都筑区の特産品である「小松菜」を展示し、来場者に小松菜料理を無償頒布等する予定。		6/20(土)18:30～20:00「冒険への道(Road to Adventure)」 ミュージカル・レビュー 横浜の地から始まる冒険の旅、大きな夢と、広い世界に続く道
戸塚	珈琲や特産品の販売		・パネル展示(街並み、歴史、事業紹介 等)		6/20(土)12:00～15:00「区制70周年・開港150周年記念戸塚区民コンサート」 戸塚区民オーケストラや明治学院大学学生、区内小学校児童によるコンサートで、区制70周年・開港150周年を盛り上げます。
栄		5/9(土)13:00～15:00 横浜開港から現在・未来へと栄える道～栄区の新たな船出～ 「吹奏楽・パトントワリング・和太鼓」	・パネル展示 ・栄区の概要や横浜開港当時に建設された本郷ふじやま公園の古民家等、当時の栄区の様子や緑の保全のための栄区内の活動等を紹介	竹炭の間伐材より製作した竹炭の販売	5/9(土)17:00～20:00「横浜開港から現在・未来へと栄える道～栄区の新たな船出～」 栄区内を中心に活動する若者たちによるダンスや歌、パフォーマンスなどのスペシャルライブと、様々な場で活躍している区内3つの合唱グループによる瀬谷の民謡等をテーマとしたコンサートを開催します！
泉			・パネル展示 ・4月4日に開設した「泉区ファーマーズマーケット ハマツ子」のPR等		6/21(日)12:00～14:10「いずこい踊り」 よさこいソーランを手本とした「いずこい踊り」をはじめ、踊りや演奏など青少年の活躍の場づくりをしている「いずこい踊り実行委員会」によるステージです。
瀬谷	瀬谷産農産物の販売(5月9日のみ)、せんべい、「瀬谷の逸品」(カステラ)の販売。 髪の毛の編込みの実演(エクステンション)		・パネル展示 「瀬谷の四季」(四季折々の瀬谷の美しい風景と、そこに息づく人々の姿を紹介)		6/6(土)12:00～15:00「瀬谷40・開港150アニバーサリーライブ」 瀬谷区内外で活動する若者たちによるダンスや歌、パフォーマンスなどのスペシャルライブと、様々な場で活躍している区内3つの合唱グループによる瀬谷の民謡等をテーマとしたコンサートを開催します！

広報プロモーション活動について

開国博 Y150 の広報・プロモーションについては、「横浜レング通信」などを通じた市民への広報を引き続き実施するとともに、首都圏や全国を対象としたプロモーションがますます重要となるため、ベイサイドやヒルサイドエリアの開幕に合わせ、マスメディアでの広告の露出を集中的に実施します。

1 これまでの主な取組

- ・ 印刷物の発行・配布（リーフレット 110 万枚、オフィシャル情報紙「Y150 新聞」各 60 万部を 2 回発行、たねまるマップ第 1 版 30 万部など）
- ・ のぼり旗（約 6500 枚を区役所や地下鉄駅などに配布）や横断幕などの設置
- ・ 市営バス車両へのラッピング広告（20 両）や路線バス車両への前面幕の掲出（市営バス約 800 枚、民営バス 1157 枚）、タクシー車両へのステッカーの貼付（7400 枚）
- ・ たねまるバルーンの製作・設置（市庁舎内（2 月まで）、大さん橋国際客船ターミナル内（4 月から））
- ・ 「ゆず」の製作によるテーマソングを使用した、Y150 のスポット CM の放映および新聞各紙へのイベント告知広告などメディアへの露出
- ・ 電車内及び駅への広告掲出



市庁舎内へのたねまるバルーン設置状況



市営バス車両へのラッピング広告および前面幕

2 今後の主な取組

- ・ Y150 公式ガイドブックの発売（4 月）やたねまるマップ第 2 版（4 月中）および第 3 版（ヒルサイドエリア開幕に合わせて）の発行
- ・ ベイサイドとヒルサイドエリア開幕に合わせた雑誌への広告掲載
- ・ テレビ番組内でのタイアップ広告（3/28 TBS「王様のブランチ」、4/28 TBS（予定）、4/29 テレビ東京（予定）ほか 5 月にも在京キー局で放送予定）
- ・ 4 月 5 日から 9 月 27 日まで毎週日曜日にミニ番組放送中（TBS 12:54～「ハマ小町×ハマ娘街」（開国博 Y150 提供番組））
- ・ 各種ウェブサイトへのバナー広告掲載（3 月から実施、継続中）

※裏面参考資料：開国博 Y150 関連の主な報道実績・予定

番号	種別	媒体他	掲載、放映日	概要他
1	雑誌	日経TRENDY(全国誌)	2008年11月4日	12月号で「09年ヒット予想ランキング」:8位にランクインで掲載。
2	雑誌	DIME(全国誌)	2008年12月16日	1月号で「09年トレンド&ヒット商品はこれだ!」のなかで『150周年の催し開催』他を掲載。
3	雑誌	PRIR(広報専門の全国誌)	2008年12月17日	1月号で「09年を表す10大キーワード」のひとつとして「横浜の150周年関連」を掲載。
4	雑誌	月刊レジャー産業(レジャー関連専門の全国誌)	2008年12月25日	1月号で「開国博Y150特集記事」を掲載。見出し:『市民の積極関与を促す地域共生型新たな都市イベント』
5	雑誌	Oz magazine(全国誌)	2009年1月12日	2月号で横浜を特集。「開国博Y150特集記事」を掲載。
6	雑誌	横浜ウォーカー	2009年1月20日	特集記事「開幕宣言!横浜開港150周年イヤー」を掲載。
7	雑誌	週刊朝日	2009年2月10日	
8	雑誌	週刊女性	2009年2月17日	
9	雑誌	JTB春るるぶ2009	2009年2月20日	
10	雑誌	月刊「旅の手帖」	2009年3月10日	
11	雑誌	週刊東洋経済	2009年3月23日	
12	雑誌	まっぶるマガジン東京横浜ベストスポット2010	2009年3月30日	
13	雑誌	日経トレンディ	2009年4月4日	
14	雑誌	横浜ウォーカー別冊	2009年4月17日	
15	新聞	日経新聞(全国版)	2008年1月19日	「夕刊:第一社会面」で「開国博Y150特集記事」を掲載。見出し:『順風の船出』。
16	新聞	日経MJ(全国紙)	2008年12月3日	「09年トレンドカレンダー」で「開国博Y150」を掲載。
17	新聞	読売新聞(横浜・川崎版)	2008年12月16日 ~ 2008年12月18日	「ラ・マシ特集」3日にわたり掲載。
18	新聞	日経MJ(全国紙)	2008年12月24日	「マーケティング面」で『150周年特集記事』を掲載。
19	新聞	読売新聞(全国紙)	2009年1月1日	折り込み「全国ゆるキャラ特集」で『たねまる』を掲載。
20	新聞	神奈川新聞	2009年1月1日	折り込みで「150周年特集記事」を掲載。
21	新聞	日刊工業新聞(全国紙)	2009年1月6日 ~ 2009年1月7日	「開国博Y150特集記事」を2日にわたり掲載。7日は小川GPIによる紹介。
22	ラジオ	ニッポン放送	2009年1月1日	『横浜開港150周年記念 中田宏のペイドリームYOKOHAMA』番組で、小川GPIによる「開国博Y150概要」の紹介。
23	ラジオ	アール・エフ・ラジオ日本	2009年1月1日	『新たな横浜を目指して~横浜開港150周年~』番組で、「開国博Y150概要」の紹介。
24	ラジオ	FMヨコハマ	2009年1月3日	『AIR CRUISE Y150イヤー突入スペシャル』番組で、「開国博Y150概要」の紹介。※3時間番組
25	ラジオ	ニッポン放送	2009年3月21日	
26	ラジオ	TBSラジオ	2009年4月6日	「日本列島ほっと通信」
27	テレビ	tvk「カウントダウン特別番組」	2008年12月31日	「横浜開港150周年関連イベント」を放映。※「開国博Y150」の紹介も。
28	テレビ	「ゆく年くる年:NHK」(全国放送)	2008年12月31日	「横浜開港150周年関連イベント」を放映。
29	テレビ	tvk「Hi! 横浜編集局」	2009年1月3日	小川GPIによる「開国博Y150概要」の紹介
30	テレビ	「笑っていいとも:フジTV」(全国放送)	2009年1月7日	クイズコーナーで、「たねまる」着ぐるみ登場。※「開国博Y150」の紹介も。
31	テレビ	「はなまるマーケット:TBS」(全国放送)	2009年1月16日	「たねまる」着ぐるみ登場。※「開国博Y150」の紹介も。
32	テレビ	「知っとこ:TBS」(全国放送)	2009年1月17日	「09上半期トレンドベスト10」で「開国博Y150」が10位にランクインで放映。
33	テレビ	NHK「首都圏ネットワーク」	2009年2月5日	2月5日記者発表会関連
34	テレビ	フジテレビ「スーパーニュース」	2009年2月5日	2月5日記者発表会関連
35	テレビ	日本テレビ「ズームインSUPER」	2009年2月6日	2月5日記者発表会関連
36	テレビ	TBS「王様のブランチ」	2009年2月7日	2月5日記者発表会関連
37	テレビ	TBS「サンデージャポン」	2009年2月8日	2月5日記者発表会関連
38	テレビ	TBS「王様のブランチ」	2009年3月28日	
39	テレビ	TBSミニ枠番組	2009年4月5日 ~ 2009年9月27日	毎週日曜日12:54~「ハマ小町×ハマ娘街」
40	テレビ	日テレプラス(CS放送)	2009年4月5日 ~ 2009年4月30日	YOKOHAMA Legend: The Secret of Magical Cruise (2~3回放送)
41	その他	JRパンフレット	2009年3月20日	「小さな旅シリーズ」春・初夏版

ストーリーが、はじまる。

ヨコハマ

横浜・神奈川デスティネーションキャンペーン
2009.6.1(mon.)→8.31(mon.)

開港150周年事業推進特別委員会資料
平成21年4月9日
経済観光局

横浜・神奈川デスティネーションキャンペーンについて

横浜・神奈川デスティネーションキャンペーンとは、JR東日本をはじめとするJR6社と横浜市、横浜開港150周年協会、横浜観光コンベンションビューロー、近隣5都市、さらに観光関連事業者等が一体となって、横浜の観光資源を全国に集中的に宣伝し、観光客の誘客を図る大型のプロモーションです。

2009年（平成21年）の開港150周年という節目の年を好機ととらえ、横浜の持つ地域資源・特性を最大限に活かすとともに、新たな賑わいや魅力を創出し、開港150周年記念事業を核とした大規模集客プロモーションを展開するため、本キャンペーンに取り組むことになりました。

キャンペーンの実施にあたっては、横浜観光のイメージアップを図り、多くの観光客誘致を実現し、横浜経済の活性化を図ってまいります。

いよいよ6月1日から、キャンペーンが始まります。

1 テーマソング「みらい」について

(1) 制作の経緯

- ・ 昨年5月に、横浜開港150周年を盛り上げるため、横浜出身の歌手「ゆず」にテーマソングの制作を依頼し、3月に完成
- ・ 4月22日に発売予定

(2) 使用予定

- ・ デスティネーションキャンペーンのCMソング
- ・ 横浜開港150周年の広報PR
- ・ 開港150周年記念式典
- ・ 開国博Y150のCMソングやイベント会場での使用 等

2 広報宣伝について

全国約3,000のJR駅等において掲出される広報印刷物を制作しました。

(1) 5枚連続のポスター

- ・ 市内観光地を背景とした5種類のポスターを制作
- ・ 発行部数 6,000組

(2) 観光ガイドブック

- ・ 開国博Y150等のキャンペーン期間における観光情報を集約した冊子
- ・ 発行部数 50万部

3 観光開発について

(1) 旅行商品化促進対策

- ・ 平成21年度上期（4月～10月）の旅行商品化に向けて、18モデルコースを開発
- ・ 上記をもとに、全国の旅行代理店に対し、旅行商品の造成を依頼

(2) 事業誘発対策

- ・ 市内観光事業者等に対して、キャンペーンを契機とした観光事業の開発を働きかけ
- ・ 上記を集約し、高い集客力が見込まれる事業を、観光ガイドブックやWEBサイト上に掲載する予定

4 観光客の受入対策について

観光の新たな魅力づくりとして、市民ボランティアガイドによる「まち歩き」の事業化に向けて、コース検討や、運営体制の整備等を行いました。

5 今後の事業計画について

(1) 観光客への情報支援（4月から順次）

- ・ 横浜観光コンベンションビューローのホームページの拡充、その他ウェブサイトを活用した観光情報の発信

(2) 「ヨコハマまち歩き150事業」の実施（「開国博Y150」の開催期間）

- ・ ガイド付きの「まち歩き」ができる受入体制を整備
- ・ Y150赤レンガ会場に「まち歩き総合ステーション」を設置

(3) 広報宣伝の全国エリア展開（4月下旬から順次）

- ・ 全国約3,000のJR駅等において、「5枚連続のポスター」と「観光ガイドブック」を一斉掲示・配布
- ・ JRグループのメディア媒体による集中宣伝（JR駅構内や電車の車内広告、スポンサー番組での横浜特集やCM放映等）

(4) 開幕式典の実施（6月）

- ・ 6月1日 オープニングセレモニー（JR桜木町駅前の広場）
- ・ 6月2日 イベント列車の出発式（JR横浜駅）

(5) 誘客の促進対策（5～7月）

- ・ 全国主要都市のJR駅構内において、横浜の観光PRイベントを実施



©150
開国博

ワイ ひゃくごじゅう

+150

150



横浜開港150周年記念テーマイベント 2009.4.28～9.27.
www.yokohama150.org

本資料に関するお問い合わせは

開国博Y150広報事務局

(03)3403-5139

(財)横浜開港150周年協会 広報・宣伝部 (045)222-1508

■発行 財団法人横浜開港150周年協会

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港1-6-3

TEL (045)222-0150

FAX (045)662-1500

<http://www.yokohama150.org>

(20090330)

開催概要



■事業名称	横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」
■愛称	開国博Y150
■主催	財団法人横浜開港150周年協会
■後援	諸官庁、横浜市各団体など(予定)
■有料入場者数	500万人(予定)

会場

B ベイサイドエリア 会期：2009年4月28日(火)～9月27日(日)10:00～22:00

※周遊会場は閉場時間が異なります。
※小中学校団体については繰り上げ開場を行います。(予定)

日本初登場となる、フランスの巨大スペクタクルアート劇団「ラ・マシン」によるパフォーマンスや、日本を代表する映像作家・岩井俊二氏がプロデュースする新感覚SFファンタジー「BATON」の上映、開国・開港をテーマとした歴史体験やエンターテインメントイベント、ライブ、パフォーマンスアーツ、国際交流、市民協催イベントなど、ベイサイドエリア(横浜・赤レンガ倉庫周辺ほか)では、さまざまな素敵なプログラムをお楽しみいただけます。

H ヒルサイドエリア 会期：2009年7月4日(土)～9月27日(日)9:30～17:30

※但し、8月の毎週土日及び9月19日から27日の9日間は、9:30～20:30

ヒルサイドエリアの会場となるよこはま動物園ズーラシア隣接地区では、横浜で伐採した竹で作る、竹の大屋根(竹の海原)が会場中央に出現します。ここでは横浜の市民自らが中心となって企画出展をする「市民創発プロジェクト」が展開されます。自然あふれる会場で、トークショー、ワークショップ、パフォーマンスなど、さまざまな参加体験ができるプログラムをご用意しています。

M マザーポートエリア 会期：2009年の年間を通じて展開

横浜駅周辺から山下・山手地区でお馴染みの人気スポットを中心としたマザーポートエリアでは、周辺地域と密接に結びついた横浜ならではの魅力をお楽しみいただけます。2009年通年開催で、横浜市民お薦め情報を盛り込んだ「エリア内回遊ルートマップ「たねまるマップ」」の発行など、「開国博Y150」を一大ムーブメントとして賑やかに盛り上げます。

開国博Y150アクセス案内

B ベイサイドエリア 4月28日(火)～9月27日(日)10:00～22:00
 ※みなとみらい線 磯子駅～磯子駅(日)10:00～22:00
 ※みなとみらい線 磯子駅～磯子駅(日)10:00～22:00
 ※みなとみらい線 磯子駅～磯子駅(日)10:00～22:00

M マザーポートエリア 2009年の年間を通じて展開
 ※みなとみらい線 磯子駅～磯子駅(日)10:00～22:00
 ※みなとみらい線 磯子駅～磯子駅(日)10:00～22:00

H ヒルサイドエリア 2009年7月4日(土)～9月27日(日)9:30～17:30
 ※みなとみらい線 磯子駅～磯子駅(日)10:00～22:00
 ※みなとみらい線 磯子駅～磯子駅(日)10:00～22:00

※Y150会場には専用駐車場がございません(団体バス等を除く)。また、会場周辺の道路は混雑が予想されますので電車・バス等でご来場ください。
※会期中は無料シャトルバスの運行を予定しています。

市内展開イベント

- ①横浜FUNEプロジェクト
- ②DO-RA-MA YOKOHAMA 150
- ③横濱・開港キャンドルカフェ150



153日間の、世紀を超える感動体験。

「海」「街」「自然」が生きる横浜の3つのエリアで 開国・開港150周年を祝うイベントを盛大に開催

「開国博Y150」は、横浜開港150周年記念事業のコアとなる
横浜にとって50年に一度の大型イベントです。
横浜は、1859年の開港以来、50年ごとに、盛大な祭典を行ってきました。
そして2009年、開港150周年記念として「開国博Y150」を開催します。

母なる港・マザーポート横浜には、多様な「チカラのたね」に育まれた
横浜市民、横浜ゆかりの企業・店舗、アーティスト、映像作家などが一堂に会し、
“海”“街”“自然”が生きる3つのエリアで
横浜の魅力・歴史・未来を凝縮した祭典を繰り広げます。

ベイサイドエリア(横浜・赤レンガ倉庫周辺ほか)は、
横浜の原点でもある海と港の景観の中に複数のイベント会場が集まる記念イベントの中心エリア。
大型エンターテインメント展示、大型映像、催事会場、市民参加イベント、営業ブースなどを多彩に展開し、
夜間は、華やかなナイトショーやライトアップが賑わいを演出します。

ヒルサイドエリア(よこはま動物園ズーラシア隣接地区)では、
豊かな自然の中にこどもから大人までが集まり、
ワークショップをはじめとする様々な市民創発プログラムを展開します。

マザーポートエリア(横浜駅周辺～山下・山手地区)では、
横浜の繁華街や商店街が連携し、「エリア内回遊ルートマップ」や特別優待(割引)サービスをご用意。
お客様一人ひとりを街全体が笑顔でお出迎えます。



「新しい開国・開港 未来に向けて」

当協会が実施する「開国博Y150」は、横浜の開港ということにとどまらず、近代日本の開国を記念する半世紀に一度の記念事業でございます。従いまして、開国の歴史を振り返り、環境問題や最新の科学技術なども取り上げ、驚きと感動を、横浜市民、神奈川県民はもとより、広く全国の皆様に提供してまいりたいと考えています。

特に次世代を担う青少年、子どもたちに、近代日本の歩みを学んでいただきながら、未来へ夢・希望・誇りを育てていただけるような催事としてまいる所存でございます。

是非、多くの方々に全国からこの横浜の地に訪ねていただき、「開国博Y150」にご参加いただき、そして、楽しんでいただくことを期待しております。



財団法人横浜開港150周年協会:会長 佐々木 謙二

「開国博Y150」は一人ひとりの可能性の種に気づく 「巨大な実験場」

「開国博Y150」は、横浜という都市を舞台にした「巨大な実験場」となります。参加出展する企業や自治体はもとより、参加市民やお客様一人ひとりに至るまで、自分の可能性を探る実験の場です。ここは、単に楽しんでいただくだけのイベントではありません。未来の担い手である子どもたちや学生たちをはじめ、会社から社会に出てこられるシニアの方々、ビジネスパーソンや主婦の方々……あらゆる生活者の方々に「横浜の夢」に共感し、その実現に共に参加していただくことにより、これからの150年に向かって持続可能な世界を創造する時代のエンジンとしての自分を発見していただきたいと願っています。

150年前、海の向こうからやってきたさまざまな近代化の種を受け取り、育み、近代日本のマザーポートとなった横浜から、今度はわたしたち一人ひとりが、自分の持つ可能性の種に気づき、新しい時代の海に出航していく、そのような稀有な機会となる事業を目指しています。



横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」総合プロデューサー:小川 巧記

ご挨拶



未来を創り、事業を創る。
2009年、横浜は「**第二の開港**」へ。

1859年、横浜の開港を機に、近代日本が「開国」しました。
そして、先行きに不透明感が漂う今日にあって、横浜は再び未来を切り拓く
リード役を果たすべく、先進性と気概をもって「第二の開港」へと新たな歩み
を始めています。
関東大震災や横浜大空襲などの被害からも市民の努力により復興を遂げ、
この150年間で横浜は日本最大の政令指定都市、国際都市へと発展して
きました。

『開国博Y150』は、先人の業績への感謝を忘れることなく、また未来の
横浜や日本が夢と希望にあふれるよう、「イベント」又は「博覧会」という従
来の概念ではとらえ切れない、斬新な事業になればと考えています。
市民の皆さんに横浜の魅力を改めて実感いただくとともに、
日本全国の、全世界の、多くの方々に足を運んでいただき、横浜を知り、
日本を知っていただきたいと思っています。



横浜市長 中田 隆

マザーポートから7つのたねをのせて、横浜から世界へ。



日本の「開国」、横浜の「開港」。

多くのたねが世界からこの地にやってきました。

それから150年。

そのたねたちは根つき、都市という大きな森へと育ちました。

いま、日本の近代化150年を見つめなおし、そして、これからの150年に向かって、

母なる港・マザーポート横浜に集まった

「7つの力のたね」が、

それぞれの個性を輝かせながら参加・協働・創発します。

持続可能な地球都市を目指して、アジアへ、世界へ、

新たな時代のたねを乗せて、

2009年「**出航**」します。

開国博「ワイひゃくごじゅう」と呼んでください！

愛称ロゴマーク



横浜開港150周年記念テーマイベント

150年前の近代日本の「開国」に思いをはせ、新たな地球社会への「開国」をめざして、横浜が再び未来を切り拓くリード役となるという意味を分かりやすく表現するとともに、従来の単一会場型博覧会と異なり、153日間にわたって横浜の複数市街地で広域に行う、新しい形の都市型博覧会であることをアピールしています。

正式名称は、下記の『横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」』で変更ありませんが、上記の理由から本事業のスケール感を伝えるキーワードとして、「開国Y150」を愛称として使用してまいります。

横浜開港150周年記念事業テーマイベント
シンボルロゴマーク「Y150」

横浜の開港=日本の近代への開国を表す「開国・開港」

横浜が受け入れ、育み、そして、これから創造する「たね」とそれを出航させる「フネ」

「Y」は、種から力強くそだつ横浜であり、これからの150周年を創る主人公であるYouのY

横浜が蓄積してきた150年の歴史的価値を再発見する「+150」



これまでの150年を見つめ直し、これからの150年に向かって。

横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港 Y150」における、「開国・開港」は、横浜の開港=日本の近代への開国であることを示し、「Y」は、横浜であり、都市づくりの主人公であるYouを表します。

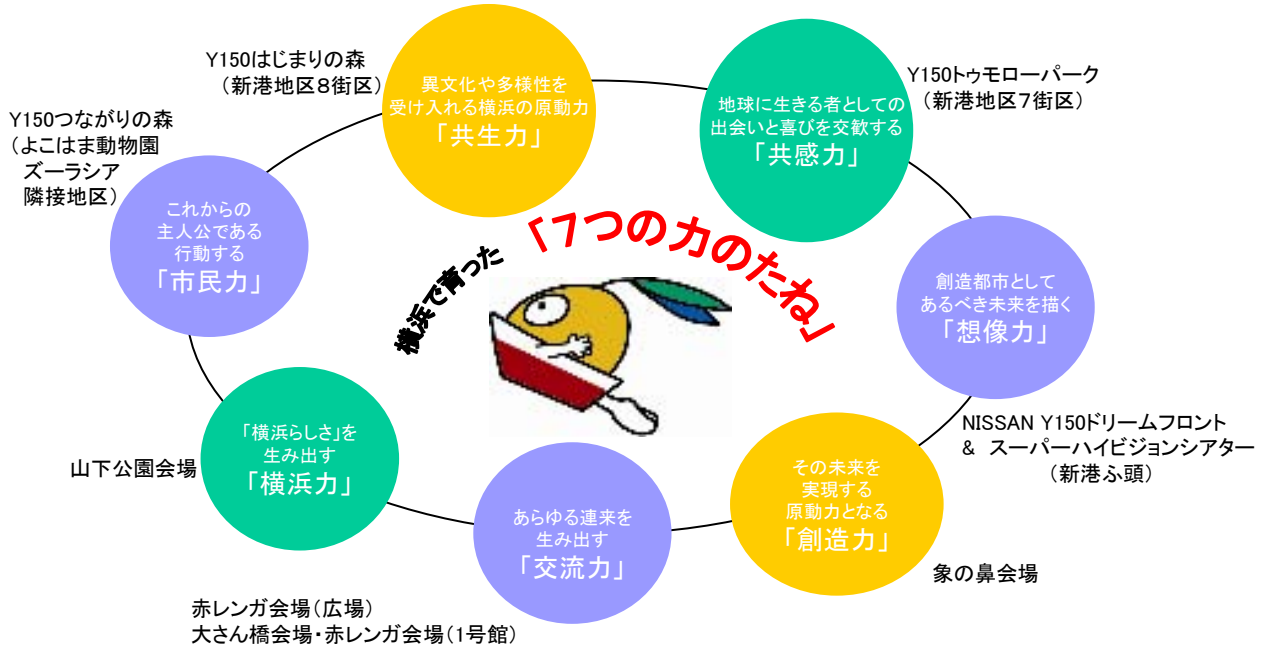
「+150」は、これまで横浜が蓄積してきた150年の歴史的価値を再発見しようという試み、そして、これからの150年に向けて新しい価値を創造・発信しようという試みを込めました。

横浜が受け入れ、育み、そして、これから創造する「たね」と、それを出航させる「フネ」を「全体のフォルム」として表現しています。



これからの150年-横浜のゆめ、地球の希望。

現在、わたしたちには
 持続可能な発展のために地球規模での共生が求められています。
 150年間、多様な文化を受け入れ、それらを大きく育んできたマザーポート横浜には、
 この地球的課題に応える「7つの力のたね」があります。



いま、この「7つの力のたね」によって
 横浜が描き出す夢こそが「地球の希望」となり、
 横浜を「地球的共生を目指す、地球都市」へと導くのです。

横浜に集ったすべての多様な「たね」たちは、
 その個性を発揮しながらさらなる 150年を目指して、参加・協働・創発します。

日本第二の都市という枠組みを遙かに超えて、
 世界に冠たる地球的共生のモデルとなり、地球都市を目指して、アジアへ、世界へ・・・！

これからの 150年に向かって、横浜に育った 7つのたねを乗せて、
 マザーポートから「新しい横浜」が出航します。

「たねまる」と呼んでください！

「たねまる」は、横浜開港資料館の中庭にある「タマクスの木」の精。
 150年前、日本が開国・開港をした時から、ずっと日本を見守ってきました。
 次の150年に向けて、新しい「チカラのたね」を寄せ、アジアへ、
 世界へ向けて 2009年「出航」します。



横浜開港150周年記念事業
 マスコットキャラクター「たねまる」

「たねまる」の声優に、ハマっ子の「松本梨香」さん。

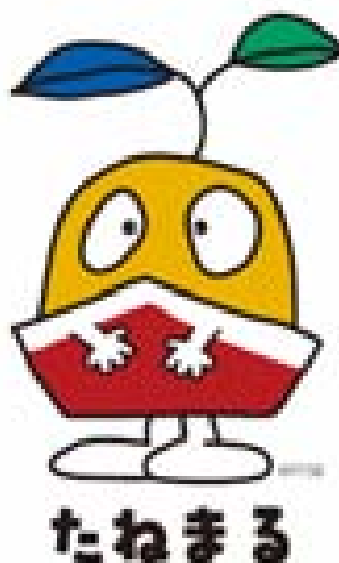
Y150



横浜開港150周年記念事業マスコットキャラクター「たねまる」の声を、声優・タレントとして幅広くご活躍中の松本梨香(まつもとりか)さんに担当していただくことになりました。

横浜市出身、在住の松本さんは人気アニメ「ポケットモンスター」の主人公「サトシ」役のほか、多数のキャラクターや吹き替え、歌手としてもご活躍されています。生まれも育ちも横浜というだけに、「たねまる」を通して横浜開港150周年をアピールしていただけると期待しています。

今後、各種イベントやたねまるキャラバンで、元気な声の「たねまる」がお目見えするほか、横浜開港150周年記念イベント「開国博Y150」のテレビ・ラジオCM、プロモーション映像やテレビ・ラジオ番組などにも登場する予定です。



松本梨香さんのプロフィール

本名：松本 梨香(まつもとりか)

出身地及び居住地：横浜市

代表作：「ポケットモンスター」サトシ役

「ビバリーヒルズ青春白書」ケリー役

ラジオ日本「松本梨香のヨコハマウィークエンドスタイル」

他、吹き替え、CM、ラジオ、テレビ出演多数

所属事務所：株式会社サンミュージックプロダクション

横浜出身の「ゆず」制作のテーマソング完成！



開港150周年を迎える横浜のために、横浜市出身の人気デュオ「ゆず」がテーマソングを制作してくれました。

タイトルは『みらい』。

このテーマソングは、記念テーマイベント「開国博Y150」や「記念式典オリジナルショー」「横浜・神奈川デスティネーションキャンペーン」など横浜開港150周年を盛り上げるさまざまな場面で使用され横浜を強力に応援してくれます。

○経緯

横浜市では、横浜開港150周年を盛り上げ、また市民のみなさんに世代を超えて親しみ口ずさんでもらえるようなテーマソングをつくろう！ということになりました。そこで、横浜出身で、未来につながる明るいイメージを持つアーティスト「ゆず」に曲の制作をお願いし、快諾をいただきました。「ゆず」は、横浜開港150周年記念式典 市民アンケートで「横浜ゆかりの有名人(現在・過去問わず)といえば誰？」という質問で、美空ひばりさんに次いで2位に選ばれています。

○テーマソングの具体的活用方法

- (1) 横浜開港150周年の広報PR CM、各種PRイベント、広報番組、市民利用施設のBGM など
- (2) 開港150周年記念式典 5月31日(日) 宮本亜門氏創作のオリジナルショーで使用
- (3) 記念テーマイベント「開国博Y150」 イベント会場、会期前・会期中のテレビ・ラジオなどの告知
- (4) 横浜・神奈川デスティネーションキャンペーン 6～8月キャンペーン期間中のCMソング

○完成時期

3月初旬完成(ニューシングル「みらい」として4月22日発売予定)



ゆずのプロフィール

1996年3月結成。横浜・伊勢佐木町で路上ライブを行うようになる。1997年10月、1stミニアルバム「ゆずの素」をリリース。翌1998年6月にリリースした1stシングル「夏色」で脚光を浴び、7月リリースの1stアルバム「ゆず一家」で一躍全国区となる。2008年に入り、4月に2年3ヶ月ぶりのオリジナルアルバム「WONDERFUL WORLD」、11月5日にはニューシングル「シンカバブー」をリリース。

リーダー:北川悠仁(きたがわ ゆうじん)

生年月日:1977年1月14日

出身地:横浜市

Vocal、Acoustic Guitier、Tambourine

サブリーダー:岩沢厚治(いわさわ こうじ)

生年月日:1976年10月14日

出身地:横浜市

Vocal、Acoustic Guitier、Harp

「開国博Y150」テレビCMが完成！



記念テーマイベント「開国博Y150」の会期前から会期中を通じてオンエアされるテレビCMが完成しました。
 メインビジュアルであるインビテーションカードが横浜の空を舞う「メイン告知篇」とコンテンツを紹介する「イベント告知編」の2タイプ。
 テレビスポットや「開国博Y150」のミニ枠特番などでご覧いただけます。
 BGMはゆずが歌う公式テーマソング「みらい」、
 「たねまる」のキャラクターボイスは松本梨香さんです。

—TVCM「メイン告知篇」—



♪「みらい」 ゆず

横浜

150年目の

大博覧会！

開国博

Y150

始まるよ！

—TVCM「イベント告知篇」—



♪「みらい」 ゆず

Y150!

横浜で

153日間の

世紀を超える

感動体験が

始まる！

開国博

Y150

みんな集まれ！

横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」
「Y150コールセンター」開設



横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」開幕間近！
お電話1本で、専門オペレーターが「開国博Y150」の？にお答えします。

財団法人横浜開港150周年協会では、横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」に関する様々なお問い合わせについて、専門のセンターでご案内するサービス窓口「Y150コールセンター」を開設しました。

電話一本で専門のオペレーターがご案内しますので、お気軽にお問い合わせください。

1. 開設日 平成21年3月2日(月)
2. 対応日時 【会期前】平成21年3月2日～4月27日(土日祝日を除く)
午前9時00分から午後5時45分まで
【会期中】平成21年4月28日～9月27日(土日祝日を含む)
午前9時00分から午後10時まで
3. Y150コールセンター 電話番号 045-414-0103
FAX番号 045-414-0104

本件に関する問い合わせ先

財団法人横浜開港150周年協会 運営本部事務局 (045)222-1555

報道関係の方からのお問い合わせはこれまで通り

開国博Y150広報事務局 (03)3403-5139
財団法人横浜開港150周年協会 広報・宣伝部 (045)222-1508

ベイサイドエリア概要



新港地区から山下公園一带の「ベイサイドエリア」は、メインとなる3つの有料会場と5つの周遊会場構成。有料入場施設は、新港地区に近接して3施設が設置され、また周遊会場として、赤レンガ倉庫から山下公園にかけて、5つの会場が設けられます。

来場者は、横浜ならではの海と港、歴史的建造物などの景観を楽しみながら、有料入場施設と周遊会場を自由に回遊し、体験型展示、大型シアター、催事、市民参加イベント、夜間演出、飲食、ショッピングなどを、多彩に楽しむことができる会場構成となっています。



- 3 NISSAN Y150ドリームフロント & スーパーハイビジョンシアター (新港ふ頭)
NISSAN Y150ドリームフロント
スーパーハイビジョンシアター



- 4 赤レンガ会場(広場)
《開国・開港の街》
開国5ヶ国・5都市 常設展示
ワールドマーケット
都市交流広場
ワールドグルメ
公式記念品ショップ



- 5 大さん橋会場・赤レンガ会場(1号館)
横浜FUNEプロジェクト
ベイサイド市民協催
横浜18区紹介デー
横浜へつながる絹の道展(5/25~7/12予定)



- 1 Y150はじまりの森 (新港地区8街区)
ENEOS ラ・マシン
横浜ものがたり
ENEOS 未来のエネルギー館
ENEOS ナイトピクニック
黒船レストラン



※写真は過去の作品です

- 2 Y150トゥモローパーク (新港地区7街区)
未来シアター「BATON」上映
トゥモローパークステージ
アースバルーン「HOME」



- 6 象の鼻会場
黒船トリックアート
灯台アートワーク
※象の鼻会場は
6月2日オープン



- 7 山下公園会場
黒船来航イベント



© HTB-T2019



ベイサイドエリア会場マップ



有料会場

周遊会場(入場無料)



Y150はじまりの森(新港地区8街区)



横浜の歴史・創造都市横浜

有料
会場

「共生力のたね」

横浜の歴史・創造都市横浜をテーマに「クリエイティブシティ・ヨコハマ」の未来を象徴するY150イベントの中心会場。



横浜ものがたり

「横浜ものがたり」ゾーンでは、開国・開港の時代へタイムスリップ。横浜150年の歴史や開国・開港の時代を、映像や体験型展示で展開します。「ペリー応接の間」では、浜辺に建てられた応接の間やペリーを迎えた場面を紹介。開国・開港の時代をリアルに体験することができます。

「横浜はじめてワンダーランド」では、横浜から日本全国へ広がった洋食、洋装、スポーツ、乗物などを弁士の説明とともに、見て、触れる体験型展示などで紹介、日本の近代化に果たした横浜の役割を楽しく知ることができます。

また、「横浜開港物語」は、横浜港の歴史を映像で紹介するシアターであり、横浜の先人達の足跡をたどります。さらに、横浜地元企業が出店する「横浜ショーケース」や、横浜を楽しく学べるワークショップ「たまくすの学び舎」も予定されています。



横浜港海岸之風景(神奈川県立歴史博物館蔵)



※イメージは実際とは異なります。

ENEOS ナイトピクニック

横浜の夜をさらに魅力的にする「ナイトピクニック」。ファンタスティックな光のページェントをお楽しみください。



黒船レストラン

開国・開港にちなんだメニューや当時の気分を味わえる、雰囲気満点のフードコートです。



Y150はじまりの森(新港地区8街区)

横浜の歴史・創造都市横浜



「共生力のたね」

世界が注目する巨大スペクタクルアート劇団「ラ・マシン」、
日本初上陸となる、横浜に登場するスペクタクルの正体が明らかに。

ENEOS ラ・マシン

本件で日本初上陸となるフランスの巨大スペクタクルアート劇団「ラ・マシン」が、4月、いよいよ横浜に登場します。現在、「ラ・マシン」の本拠地である、フランス・ナント市で横浜の作品が急ピッチで製作されています。

これまで、その正体は謎に包まれていましたが 高さ約12m(4階建てのビルに相当)の巨大な「クモ」であることが明らかになりました。しかし、これ以上の情報は演出の都合上、引き続きベールに包まれています。

4月28日(火)開幕の「開国博Y150」のプレイベントとして、総勢約70名が4月中旬に初上陸し、スペクタクルアートを披露する予定となっています。ぜひ、ご期待ください。

「横浜にとってふさわしい生命体」

横浜市は「クリエイティブシティ」構想を掲げており、同じく「クリエイティブシティ」であるフランス・ナント市とトゥールーズ市を拠点とする「ラ・マシン」との連携を図り、世界の創造都市とのネットワークの拡大、更なる国際文化交流を目指すことから今回のプロジェクトが実現しました。

一方、「クモ」は「糸」で巣をつくる動物であり、きわめて創造的な生命体です。開国博Y150のさまざまな会場をつなぎ「横浜のゆめ」をつむいでいくと同時に、「Web = クモの巣」型ネットワーク社会のシンボルとして「クモ」が登場することになりました。

■「ラ・マシン」の代表作



「レ・メカニック・サヴァント」

(博識な機械)

2008年9月イギリス・リバプール、5日間で30万人を動員した「ラ・マシン」最新作



「制作風景」

2009年4月、横浜に登場する新作をナントのアトリエで制作中の「ラ・マシン」代表のフランソワ氏。(中央)



「ナント島の巨大な象」

2007年夏、象が初めて人々の前に現れ街の中を練り歩いている「ナント島の巨大な象」初披露の図。その後この作品は「ラ・マシン」の工房に隣接する広場で市民や観光客に公開されており、実際に搭乗することも可能。



「7つの海の巨人-

祝祭のペスガドール」

2004年、バルセロナ・文化世界フォーラムでの海洋伝説を巡るスペクタクル。

私たちの生活を支える新しいエネルギーについて
“学べる。遊べる。” 体験型パビリオン。

ENEOS 未来のエネルギー館

新日本石油は、1920年代に横浜市内において製油所の操業を開始したことを皮切りに、今日まで横浜市の発展とともに時を刻んでまいりました。

『ENEOS 未来のエネルギー館』では、<大切なエネルギー資源と私たちの地球>をテーマに、石油をはじめとするエネルギー資源の大切さ、地球の環境に配慮した新日本石油の様々な取組みなどについて紹介します。



パビリオンは、“海”“街”“森”をモチーフとする3つのコーナーと“森の学校”をイメージした実験シアターで構成、オイル缶で作ったアート、多種多様なパネルやモデルキットなどを展示するほか、記念撮影コーナーを設置します。



他にもエネルギーをもっと身近に感じていただくために来場者参加型の様々な実験も実施。
夏休み期間中はスペシャルゲストによる実験パフォーマンスも予定しております。

エネルギーの未来を創造し人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します



Y150トウモローパーク(新港地区7街区)

未来の横浜と
地球の未来へのメッセージ

有料
会場

「共感力のため」

わたしたちの明日を共感・体感できるエンターテイメントゾーン



未来シアター「BATON」

未来シアターでは、岩井俊二氏が初プロデュースし、映画「あずみ」などで知られる北村龍平氏が監督する新感覚SFファンタジーアニメーション「BATON」を上映します。

※「BATON」は1話約20分3部作の構成で、会期中を3シーズンに分け、順次上映予定です。

トウモローパークステージ

オープニングイベントや、「たねまる」によるデイリーイベント、フィナーレイベント、協賛社やメディア等による多彩なイベントやパフォーマンス、ライブなどを展開します。



向井千秋氏

アースバルーン「HOME」

横浜港の夜空に浮かぶ直径約20mの巨大な「地球」。
アースバルーン「HOME」は、宇宙飛行士・向井千秋氏監修による、光と音と映像のダイナミックな地球環境物語です。我々が当たり前と思っている地球の環境が、宇宙では特殊なことであり、地球の環境や美しさを守ることの大切さ、人類が帰るべき故郷の惑星(HOME)は地球であるというメッセージを展開します。

上演時間(予定) 19:25 20:00 20:35 21:10
演出チーム

【プロデュース/脚本/演出】滝沢直己 【音楽監督】服部隆之
【映像監督】西郡 勲 【原画】Brakichi/米澤拓也



未来の横浜と
地球の未来へのメッセージ

有料
会場

「共感力のたね」

岩井俊二氏プロデュース・脚本×北村龍平監督による新感覚SFファンタジー「BATON」
～豪華キャストが集結～

未来シアター「BATON」

岩井俊二氏が初めて挑戦する、新感覚SFファンタジーアニメーション「BATON」。脚本は岩井俊二氏自らが手がけ、監督には北村龍平氏を起用。世界が認める北村監督のスケールとスピード感あるエンターテインメント性の高さと、映像美にこだわる岩井俊二氏がコラボレーション。実写撮影後に特殊な技法でアニメ化するという、アニメーションというジャンルを越えた魅力あふれる作品を創造していきます。制作陣は、日本を代表する「円谷プロダクション」、ロサンゼルスを拠点に活動中の「Tit Mouse..inc(テットマウス)」が参加。

《ストーリー》

宇宙旅行が可能になり、惑星間での移民も行われるようになった未来、「惑星アベル」では人間とロボットが共存する世界であった。

ある日、この星にやってきた宇宙船から降り立った乗客の一人は、実は密航者であった。その密航者は、この星の入り口である空中エアポートを強行突破、惑星への侵入を試みるが、失敗してしまう。その密航者を発見したのが、「アポロ」と「ミカル」だった。その密航者が持っていたメモリーの中には、最新モデルに偽装したOS「サイファ」が入っていた。そうとは知らず、アポロは面白半分にサイファのメモリーを手に入れる。その時、アポロに突如異変が起こる。戸惑うミカル。この時二人は、これから先、そのOSを巡って巻き起こる事件など知る由もなかった。サイファとは一体なんなのか？それには一体どんな秘密が隠されているのか。そしてそれを知ったアポロとミカルの取った行動とは。

過去から現代、そして未来へと。大切な何かを繋ぎ、残していくSFファンタジー作品。



《上映スケジュール》

◆4/28～5/30 第一章「密航者」 ◆5/31～7/10 第二章「アポロとミカル」 ◆7/11～9/27 第三章「サイファ」



プロデュース、脚本
岩井俊二 (いわい しゅんじ)
横浜国立大卒業、1988年より音楽ビデオとCATVの仕事からスタート。1993年、テレビドラマ『ifもしも～打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？』で日本映画監督協会新人賞を映画監督としてデビュー前に受賞。その後映画へ進出。

1995年に『Love Letter』、1996年には長篇第2作目として、架空都市『円都』(イェンタウン)を舞台にしたサクセスストーリー『スワロウテイル』を発表。その後、数々のドラマやミュージカルビデオ、CF等多方面の映像世界で活動を続け、その独特な映像は“岩井美学”と称され注目を浴びる。



監督 **北村龍平** (きたむら りゅうへい)
17歳でオーストラリアへ渡り、映画製作を学ぶ。長編第一作『VERSUSーヴァーサスー』が世界の映画祭を席巻、絶大な評価を得る。時代劇アクション大作『あずみ』、高橋ツトム原作のSF『アライヴ』、堤幸彦監督との競作『荒神』、人気TVドラマシリーズの映画化『スカイハイ』、ゴジラ50周年記念超大作『ゴジラ・ファイナル・ウォーズ』、クレイジー・ラブストーリー『ラブデス』など次々と話題作を発表。長渕剛のコンサート・ドキュメント『桜島』、世界的大ヒットビデオゲーム『メタルギア・ソリッド: ザ・ツイン・スネークス』、浅田次郎原作、藤原紀香主演のドラマ『月のしずく』などジャンルやフィールドを超える。2008年、初のハリウッド作品であるクライヴ・バーカー原作の超絶ホラー『ザ・ミッドナイト・ミートレイン』を発表。

《出演・声優》



アポロ役
市原隼人



ミカル役
上戸 彩



ドクターニュートン役
大杉 漣



サターン役
ケイン・コスギ



ヒロコ・ヤザキ役
ミムラ



サイファ役
藤原竜也



エツロウ役
内藤剛志

(特別出演)

その他、NorA、渡辺裕之、船木誠勝、桜庭和志、小橋賢児、IZAM、ムッシュかまやつ、吉村美樹ほか



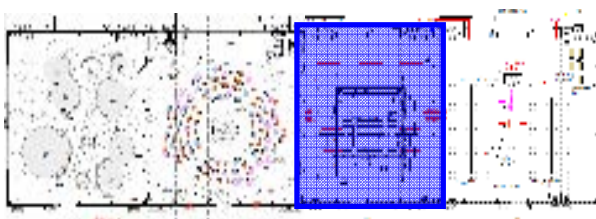
NISSAN Y150ドリームフロント & スーパーハイビジョンシアター(新港ふ頭)

子どもたちと感じる
未来と創造力

有料
会場

「想像力のたね」

「NISSAN Y150ドリームフロント & スーパーハイビジョンシアター」では、未来を担う子どもたちにメッセージを発信。子どもたちが地球環境について「気づき」「考え」「行動する」パビリオンです。まずはじめに「ZONE2」において、いままでに見たことのないような映像や音で地球の美しさに触れます。そしてこの地球がいま、さまざまな環境問題を抱えているという事実、「ZONE3」のVTRで気づきます。「ZONE4」では、それらの問題もちょっとした思いやりを皆が持つと、思いやりが思いやりを生み、その連鎖が未来を変えることになるというメッセージで空間を演出しています。



ZONE2
スーパーハイビジョンシアター

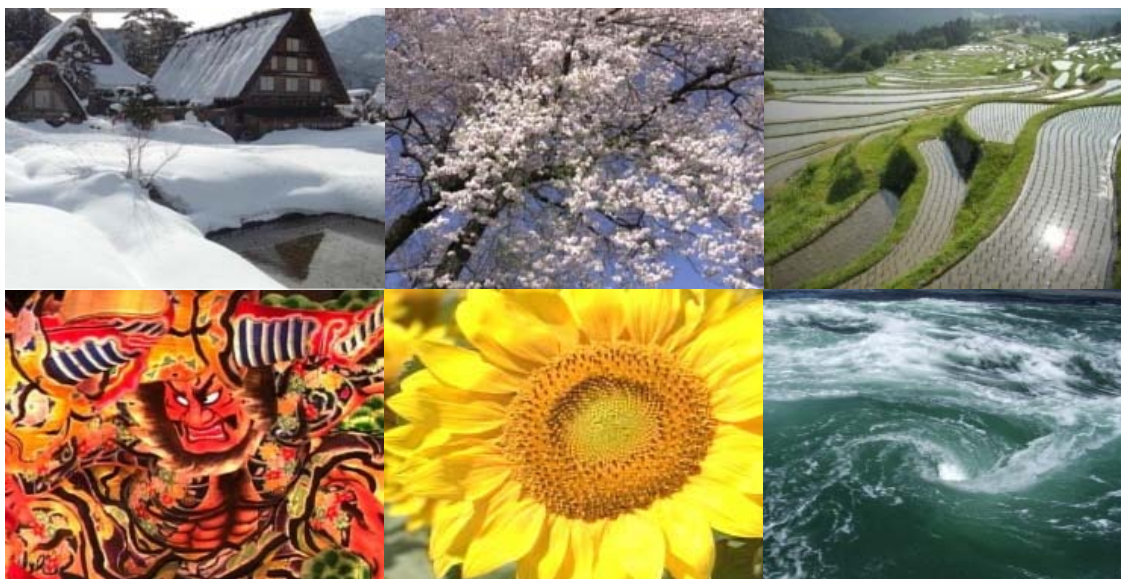
スーパーハイビジョンシアター

横浜でしか体験できない！
超大型 540インチ(約50畳分)の大迫力映像。
NHK が研究開発している、
これまでのハイビジョンの16倍という画素数、
世界初 4320本の走査線による 超高精細映像
システム と35個のスピーカーを立体的に配置した
22.2マルチチャンネル音響による
究極の臨場感を演出。

「生命のつながりと多様性」をテーマに、
日本列島の南北へ、里山へ、空へ、宇宙へ・・・。
子どもたちに、そして未来の世代へと受け継いでい
きたい、人と自然が共生する大切な日本の物語を
伝えます。



※イメージは実際とは異なります。



※撮影編集集中の画像の一部。

子どもたちと感じる
未来と創造力

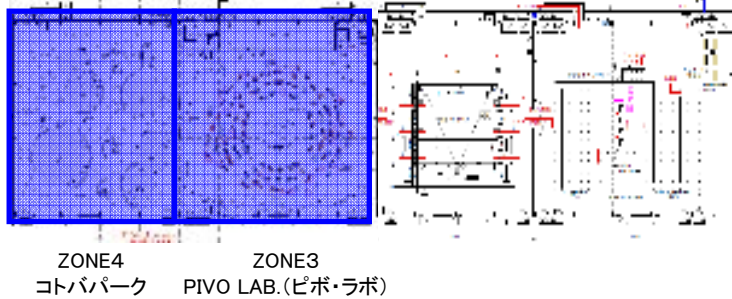


「想像力のたね」

NISSAN Y150ドリームフロント

テーマは、横浜発「地球への思いやり活動」を世界へ。日産自動車がこどもたちへ、“未来に向けたメッセージ”を発信、こどもたちが地球環境について「気づき」「考え」「行動する」パビリオンとなります。

「開国博Y150」の会期中の2009年夏に、本社を横浜みなとみらいエリアに移転する日産自動車。その日産が、横浜から“地球への思いやり活動”を世界へ”をテーマに、これからの未来を創る子ども達にメッセージを発信します。



■PIVO LAB.(ピボ・ラボ)

～地球への思いやりから誕生したPIVO(ピボ)の世界～

ZONE3のPIVO LAB.(ピボ・ラボ)では2007年東京モーターショーで話題となった日産の電気自動車「PIVO2(ピボ ツー)」がお出迎え。ピボ君が案内役で登場する映像で、地球環境を考えたり、日産自動車が描く「思いやりの未来」を探索しよう！！



東京モーターショーで話題を呼んだあの「PIVO2(ピボ ツー)」がみんなの案内役！



■コトバパーク

～大小様々な地球がみんなのメッセージを待つ世界～

ZONE4のコトバパークでは、葉の形をした紙に明日からできる「思いやりの活動」を書きこもう。「思いやりのコトバ」が書き込まれた葉は、会場内のバルーンに投稿すると吸い込まれ、バルーンの中を舞い上がります。みんなの参加で、「思いやり」がいっぱいに詰まった「地球」をつくらう！



※イメージは実際とは異なります。



赤レンガ会場(広場)

バザールと
国際交流・都市交流

周遊
会場

「交流力のたね」

国際交流・都市交流をテーマに展示、物販、飲食等を展開するほか、公式記念品ショップも開設します。

開国・開港の街(仮設テント会場)

開港5カ国・5都市や横浜と関係の深い地元・地方自治体や国内外諸公共団体によるシティセールス観光案内・物販ゾーンとしての「都市交流広場」、「5カ国5都市常設展示」、ショッピングゾーンとしての「ワールドマーケット」、飲食ゾーンとしての「ワールドグルメ」を展開します。

※開港5カ国:アメリカ・オランダ・ロシア・イギリス・フランス
※開港5都市:函館・新潟・横浜・神戸・長崎



5カ国5都市常設展示イメージ

公式記念品ショップ(仮設テント広場)

横浜開港150周年イメージキャラクター「たねまる」をモチーフにしたオリジナル商品とオフィシャル商品販売します。



ワールドマーケットイメージ

《特別企画》横浜へつながる絹の道展 [5月25日(月)~6月28日(日)]

幕末から明治にかけて 主要な輸出品であった絹を横浜港から輸出した歴史にちなみ、当時の生糸の生産地や集積地の各自治体と連携した、展示や物産展を行います。※展示は赤レンガ会場(1号館1F)で実施予定

大さん橋会場・赤レンガ会場(1号館)

ベイサイドの市民参加、
ふれあい交流イベント

周遊
会場

「交流力のたね」

日比野克彦アートプロデューサー監修による、横浜ゆかりの”船”制作ワークショップ「横浜FUNEプロジェクト」など、多様な市民参加型のイベントを多数開催します。

横浜FUNEプロジェクト(大さん橋会場)

日比野克彦アートプロデューサー監修による、横浜ゆかりの”船”制作ワークショップと展示。



五大力船



客船クィーンエリザベス2

ベイサイド市民協催(大さん橋会場・赤レンガ会場1号館)

NPO・NGOや市民団体等が一堂に集まり、日々活動している多彩なプログラムが体験できる市民参加イベントを開催。

横浜18区紹介デー(赤レンガ会場1号館)

横浜市内18区による区ごとのパネル展示、ステージイベントなどを展開。

象の鼻会場

アーティストックな
快適オープン空間

周遊
会場

「創造力のため」

“象の鼻”の呼び名で親しまれる象の鼻パークを会場に、黒船が立体的に浮かび上がるトリックアートや、日比野克彦アートプロデューサー監修による灯台アートワークイベントを開催します。

黒船トリックアート

トリックアートとは、正式には アナモルフォーシスと言い、平面に描いた絵が見る角度などにより、3Dや歪みのない絵に見える錯覚を利用した技法です。今回の作品を手掛けるカート・ウェナー氏は、トリックアートの世界的アーティストであり、これまで都市の路上や建物キャンバスに、ストリートペイントの作品を数多く制作しています。象の鼻会場の路面上に、“黒船”をテーマにした作品を描きます。作品は、黒船の実物スケールを実感できる大作となる予定です。



カート・ウェナー氏



© Kurt Wenner www.kurtwenner.com

過去の作品

※象の鼻会場は6月2日オープン

期間中、横浜市象の鼻地区再整備事業オープニングイベント等により、入場、閲覧が制限される場合があります。



灯台アートワーク

「灯台アート」のデザインは、「横浜の未来を照らす灯台」をテーマに一般公募し、市民や若手アーティストなどの幅広い参加の場とします。

監修はY150アートプロデューサーの日比野克彦氏（東京藝術大学教授）、公募期間は2009年3月を予定。審査により計10基の灯台デザインを選定し、Y150の会期を2期に分け製作・展示を行います。様々なデザインの灯台アートが、会期中、象の鼻地区を彩り、夜間は横浜の海を幻想的に照らし出します。



日比野克彦氏

山下公園会場

海・船・地域との交流
イベントゾーン

周遊
会場

「横浜力のため」

外輪型帆船が来航する「黒船来航イベント」やミニアトラクションで開国パッションを再体験。

黒船来航イベント

山下公園に黒船が来航し、乗船体験プログラム、夜間ライトアップなど、様々なイベントを展開します。

来航する船は、当時の黒船を彷彿とさせる外輪型帆船で、会期中5月・6月・8月の3回来航、昼間は乗船体験、夜間はライトアップで賑わいを創出します。

また、山下公園会場では、トライアスロンやドラゴンボートレースのほか、例年開催の既存イベントも含め、多彩なイベントが会期中展開されます。



© HTB-T2019



ハイネ画「ペリー提督・将兵の上陸図」横浜開港資料館蔵

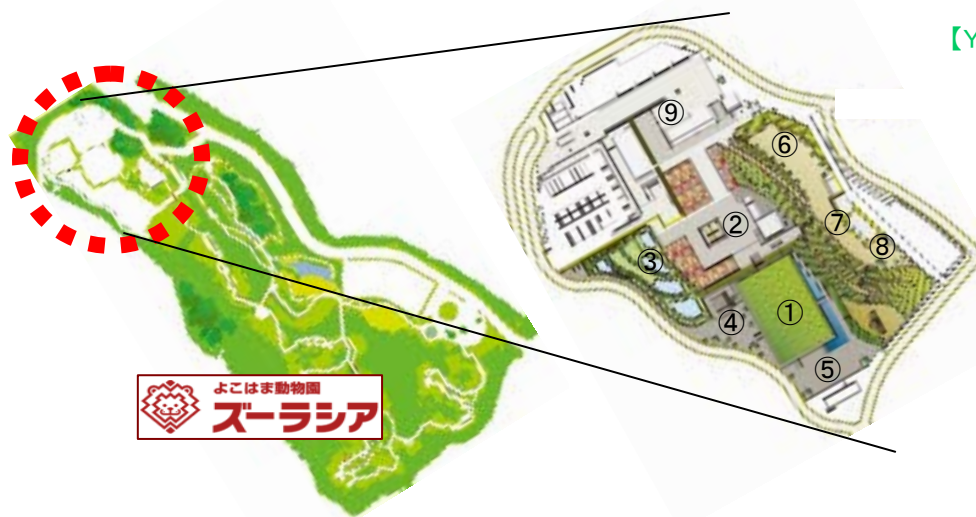


ヒルサイドエリア概要

「ヒルサイドエリア」は、横浜市の北西部、緑区と旭区にまたがる横浜動物の森公園の中にあり、よこはま動物園ズーラシアに隣接しています。

横浜の里山に囲まれた緑あふれる環境の中では、公募で集まった市民スタッフが中心になって創っていく「Y150つながりの森」が展開します。

来場者は、横浜の自然、特に懐かしい里山に触れ、自然の大切さを感じます。



【Y150つながりの森】

エリア名称

- ①竹の海原
- ②風の広場
- ③棚田・段々畑
- ④木立の広場
- ⑤水の広場
- ⑥丘の広場
- ⑦みはらし広場
- ⑧いこい広場
- ⑨メインゲート

※よこはま動物園ズーラシアの隣りにあるため、ズーラシアと連動したイベント企画も開発中です。

また、ヒルサイドエリアとズーラシアは相互割引を実施します。

会場の中心には、竹の大屋根「竹の海原」と、それを取り巻くように樹木や花壇などに囲まれたいくつもの広場があります。地形と緑豊かな里山の風景を生かして、棚田や段々畑を作り、横浜の原風景を再現します。

気づき、つながる、
共感のステージ

有料
会場

「市民力のため」



Y150つながりの森は、豊かな自然の中で、人と人、人と自然、人と地球などの様々な「つながり」を感じ、気づくことができる会場です。社会や環境のために自分のできる何かを見つけることができます。

竹の海原

Y150つながりの森の中心にある竹の海原は、里山の自然再生のシンボルです。
横浜市内の竹林整備の一環として市民のみなさんと共に伐採する竹を活用します。
完成時には日本最大級の竹を使った施設となります。



市民創発プロジェクト

「私からは始めるこれからの150年」をテーマに公募で集まった市民スタッフ自らが企画し創り上げていく、楽しく対話・参加・体験できるプログラムが満載です。自然・環境、共生などの様々なテーマの中から、現在150以上のプロジェクトが開発され、ここから生まれたプログラムが「竹の海原」や、屋外の広場で展開します。

現在進行中のプロジェクトの一例を挙げると、

- ◆次世代とつながろう
 - ・チビッコの英雄 ガキ大将づくり
 - ・150年後の子どもたちへ、など
- ◆自然とつながろう
 - ・ヒルサイド棚田プロジェクト「最新稲作研究」
 - ・横浜発 はなぐるま・花車、など
- ◆生き物とつながろう
 - ・ぞうさん(糞)からのメッセージ
 - ・鯨の背中、など
- ◆みんなとつながろう
 - ・世界と話そう、夏休みの子供達へ
 - ・私も変わろう、変わるプロジェクト
 - ・視覚障害者のダンス・メレンゲ、など



*これ以外にも様々なテーマの、多くのプロジェクトが立ち上がっています。ご期待ください。
また、プロジェクトと一緒に創り上げるプロジェクトメンバーを募集しています。

公式ホームページ <http://hill.yokohama150.jp>

マザーポートエリア

Y150と横浜の街が一体となり来場者を迎えると同時に、イベントを契機とした集客力の向上や、横浜の街をPRする各種プランを展開

マザーポートエリア(横浜駅周辺～山下・山手地区)では、開港150周年の2009年に横浜を訪れる市内外からの来場者が、「開国博Y150」と同時に、横浜の街全体を楽しめる様々なプランを、行政・商店街・企業・市民が協働で考案、実施しています。

その第一弾として、2009年1月より、地元横浜市民のお薦めスポット情報なども盛り込んだ、横浜の魅力を再発見できるエリア内回遊ルートマップ「たねまるマップvol.1」、そして「開国博Y150」やエリア内観光の情報が入手できる多機能情報ステーション「たねまるポット」がスタートします。

【エリア内回遊ルートマップ「たねまるマップ vol.1」】

2009年1月下旬～4月27日、横浜市民おススメのマザーポート内回遊コースや情報が満載、情報ステーション「たねまるポット」や市内各所で無料配布。



▲エリア内回遊ルートマップ「たねまるマップvol.1」

▼「たねまるポット」



【情報ステーション「たねまるポット」】

マザーポートエリア内の回遊の目印として商店街、施設、観光スポットなど約20ヶ所に設置。「たねまるマップ」や周辺情報チラシの配布、会期中は「たねまるスタンプラリー」のスタンプ台となります。

●2009年1月17日(土)～9月27日(日) 16ヶ所

ザ・ダイヤモンド一番街広場インフォメーション(横浜駅西口)／地下街ポルティンフォメーション(横浜駅東口)／マリノスタウンオフィシャルショップ／横浜美術館／クイーンズスクエア横浜／野毛地区インフォメーションセンター／BankART1924(アイランドタワー)／野毛山動物園／ちえるる野毛／関内ホール／なか区民活動センター(ZAIM別館)／横浜市開港記念会館／横浜開港資料館／横浜港大さん橋客船ターミナル／China Town80／山手234番館

●2009年4月28日(火)～9月27日(日) ※数カ所増設予定

帆船日本丸／ベイサイドエリア会場内 ほか

●4月28日～9月27日の「開国博Y150」の会期中には、内容がさらに拡大。

ベイサイド入場券(実券)の提示で文化施設や観光スポットが割引になる「特別優待(割引)サービス」、マザーポートエリア内を巡って賞品が当たる「スタンプラリー」、市民ボランティアによる横浜魅力スポットのガイドツアー「ヨコハマまち歩き150～Y150マザーポートまち歩きコース～」(有料)など、地域や商店街の協力も得て多彩に展開されます。

●マザーポートエリアの開催期間は、2009年1月～12月

「開国博Y150」拡充や盛り上げと同時に、それぞれの地域や商店街の振興の視点からも検討されています。

【エリア内回遊ルートマップ「たねまるマップ vol.2/vol.3」】

2009年4月28日～9月27日を前期・後期に分け2種類作成。情報ステーション「たねまるポット」や市内各所で無料配布。

【たねまるスタンプラリー】

マザーポートエリア内の「たねまるポット」をまわりスタンプを集めてラリーに挑戦、ゲーム性を楽しみながら横浜の街を回遊。

【ヨコハマまち歩き150～Y150マザーポートまち歩きコース～】 (有料)

会期中、マザーポートエリアの楽しみ方を、ボランティアガイドの案内で市民や観光客に歩きながら感じてもらう。全12コース。

【特別優待(割引)サービス】

「開国博Y150」と連動したマザーポートエリア内での優待サービス。ベイサイド入場券(実券)の提示により、文化施設(博物館など)、観光スポット、会場交通機関などの優待割引等を実施。

【地域の参加と連携】

地域や商店街、イベントオーガナイザーとの連携による各種展開。



▲「ヨコハマまち歩き150」のコースを取材する市民



多様な市民参加が、みなさんをお待ちしています。

Y150は、新しい横浜を生み出す「時代のエンジン」である「市民力」を魅せます。

小川巧記 開港150周年記念テーマイベント 総合プロデューサー

開国・開港の150年前、19世紀の「時代のエンジン」は欧米列国という「国」でした。それにつづく20世紀は大量生産・大量消費に支えられた「企業」が「時代のエンジン」でした。

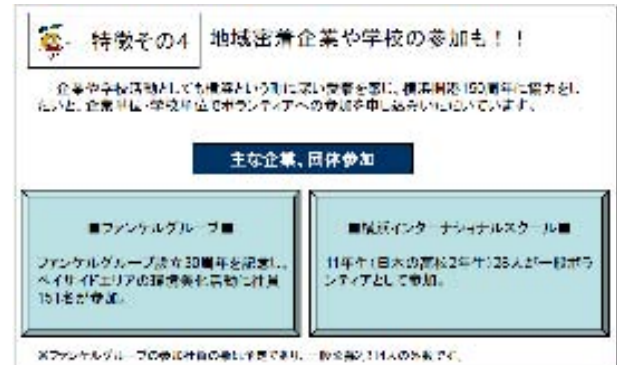
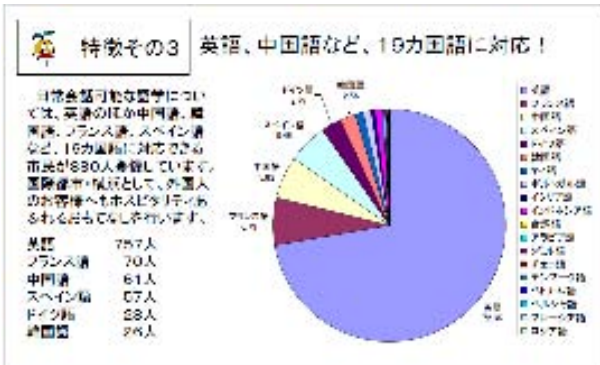
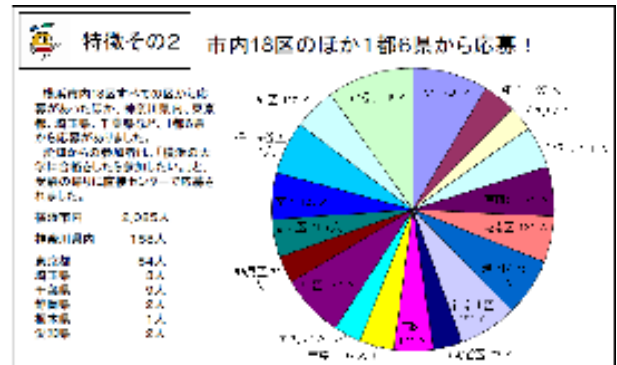
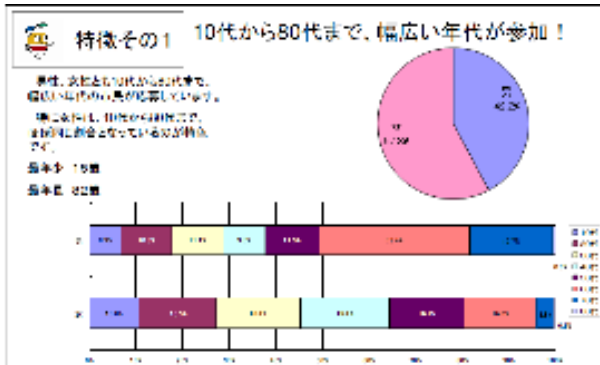
そしていま、開国から150年、「時代のエンジン」は「市民」です。私たち生活者の一人一人が、新しい時代を生み出すエンジンなのです。地球的共生が求められる新たな「開国」の世紀にあつて、もはや国はなく、われわれひとりひとりが時代を、そして新しい横浜を開くのです。そのチャンスが「開国博Y150」です。

いま多様なみなさんの参加を求めています。ひとりひとりの「私にできること」を携えて、ぜひ「開国博Y150」に参加してください。

Y150会場運営ボランティア

●「開国博Y150」は、たくさんの市民のボランティアによって、支えられています。

横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」の会場運営ボランティアを2008年10月から2009年2月まで募集し、全体で2,314人の市民が応募・登録しました。



「開国博Y150」には、市民ひとりひとりが活躍できる、さまざまな市民参加プロジェクトがあります。会場内外を問わず、様々なエリアで様々な企画が催されます。

▼ヒルサイドエリアにて開催



**横浜ヒルサイド・Y150つながりの森
市民創発プロジェクト**

「私からは始めるこれからの150年」をテーマに公募で集まった市民スタッフ自らが企画し創り上げていく、楽しく対話・参加・体験できるプログラムが満載です。

自然・環境、共生などの様々なテーマの中から、現在150以上のプロジェクトが開発され、ここから生まれたプログラムが「竹の海原」や、屋外の広場で展開します。

公式ホームページ <http://hill.yokohama150.jp/>

▼ベイサイドエリア(大さん橋会場・赤レンガ会場1号館)にて開催



ベイサイド市民協催

「協催」には「参加者が協力し合って主体となって催す」という意味が込められています。

ベイサイド市民協催では、横浜開港150周年を共に祝うために、149組もの多様な市民が、それぞれの活動を多彩な手法で表現し、参加者同士がその場を協力しあって作り上げます。それらを通して、人と人、人との、人と地域など互いの関係に気づき、新たなつながりを築いていきます。

公式ホームページ <http://bay.yokohama150.jp/>

横浜18区紹介デー

市内の18区が集まって、各区の特色を打ち出したステージイベントや特産品の販売を行います。

▼主にベイサイドエリア(大さん橋会場)にて開催

横浜FUNESプロジェクト

日比野克彦 アートプロデューサーの監修により、横浜港の歴史を彩ってきた 実際の船を題材に市民一人ひとりが力を合わせダンボールを使って150艘の「FUNES(船)」を制作します。

これまでに市内中学校、地区センター等、約110会場ワークショップが開催され、延べ12,000人を超える市民の手によって、119艘が完成しています。制作したFUNES(船)は、2009年4月～5月と9月末にベイサイド大さん橋会場で一堂に展示する予定です。

公式ホームページ <http://funes.yokohama150.jp/>





開国博Y150 市内展開イベント

DO-RA-MA YOKOHAMA 150 ～創合演劇プロジェクト～

出演だけでなく、脚本のネタ探しから舞台技術全般など、専門家の指導を受けながらすべて市民で行う、国内初となる「市民参加型演劇プロジェクト」を展開します。

現在、500名のメンバーが本番に向け本格的に稽古を行っています。昨年から実施しているPRプロモーションチームの活動に加え、メモリアルイヤーの今年は、5月～7月に市内8会場で12ステージの公演を行う他、最終公演となる文化体育館では、500名全員が参加する壮大なスケールの「ファイナル メガパフォーマンス(仮称)」を行います。



昨年11月14日、関内ホールで行われたキックオフイベントの様子

公式ホームページ <http://dorama-y150.jp/>



横濱・開港キャンドルカフェ2008の様子 © Kazumi Hirayama

公式ホームページ <http://www.candle-cafe150.jp/>

※「DO-RA-MA YOKOHAMA 150」と「横濱・開港キャンドルカフェ150」は、財団法人横浜開港150周年協会と、各々の実行委員会との共同主催になります。

横濱・開港キャンドルカフェ150 ～Road to YOKOHAMA 150 Years～

横浜ならではの舞台装置(夜景)の中、キャンドルの灯りで「横浜開港150周年」を祝います。

環境問題に取り組みながら、2006年より実施しています。屋外の風でも消えない特殊な構造の灯体を使用し、炎の揺らぎが見えるクリスタルな輝きの演出で、他にない幻想的なシーンを作ります。

2009年12月開催の本イベントでは、市民ボランティアの協力によりキャンドルをひとつずつ並べ、来場者が描いたメッセージシートを飾り、点灯します。開港150周年のラストを飾る本年はナビオス横浜をメイン会場として、内容を昨年以上にバージョンアップして記念年を締めくくります。

Y150市民参加プラットホーム推進委員会 主催プロジェクト



横浜のイベントをエコにする ネットワーク

<http://eco.yokohama150.jp/>



道志村間伐材・横浜の技 プロジェクト

<http://doushi.yokohama150.jp/>



横浜地域SNS「ハマっち！」

<http://sns.yokohama150.jp/>

※Y150市民参加プラットホームは、2009年の横浜開港150周年に「自分で何か企画したい」、「少しでも開港150周年の節目に関わりたい」という市民の方々に、Y150の多様な市民参加の情報と参加の機会を「わかりやすく」「一元的に」提供する仕組みです。運営主体はY150市民参加プラットホーム推進委員会(委員長 山崎洋子)と財団法人横浜開港150周年協会です。

Y150ウェブサイトをご覧ください！



横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」には4つのウェブサイトがあります。目的や用途によってより詳細な情報を得られるようにするだけでなく、日々更新されていく情報をわかりやすくしてサイトごとに発信していきます。

●「開国博Y150イベントサイト」

横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」のイベント全体を発信するサイトです。Y150の各エリアでのイベントの詳細、トピックス、チケットの買い方など、「開国博Y150」の全容を紹介しています。



<http://www.yokohama150.org>

●「横浜開港150周年協会サイト」

財団法人横浜開港150周年協会が発信するサイトです。賛助会員の募集や協会からのお知らせ、ニュースリリースなど、協会からの公式な発表を中心に掲載していきます。



<http://www.yokohama150.org/y150/>

●「Y150市民参加ポータルサイト」

開港150周年を迎える横浜で、多様な市民参加を実現するための情報サイトです。今後、さまざまな事業の情報や、参加募集の情報、参加しているみなさんの声などを多彩に発信していきます。



<http://www.yokohama150.jp>

●「たねまるオフィシャルサイト」

横浜開港150周年キャラクター「たねまる」のことがわかるサイトです。「たねまる」の性格から、「たねまるグッズ」の категорияや販売ショップなど、「たねまる」に関することはこちらのサイトを覗いてみてください。キャラクター・マーク等の申請もこちらからできます。



<http://www.tanemaru.com>



入場券発売中！

ベイサイド普通入場券大人 当日券の2,400円より **200円割引！**

好きな1日が選べて、料金設定も大変おトク！

■ 前売期間：2008年12月1日(月)～2009年4月27日(月)

入場券種類	区分	料金(円)	
		前売入場券	当日券
ベイサイド 普通入場券 ベイサイド有料会場で 1日入退場が自由です	大人	2,200	2,400
	中人(高校生)	1,100	1,200
	小人(小・中学生)	700	800
	シニア(65歳以上)	1,700	1,900
ベイサイド 全期間入場券 写真貼り付けご本人に限り、 開催期間中有効で入退場自由	大人	10,000	10,000
	中人(高校生)	5,000	5,000
	小人(小・中学生)	3,300	3,300
	シニア(65歳以上)	8,000	8,000
ベイサイド 特別割引入場券 身体障害者手帳、療育手帳等を 所持する方及びその介護者2名	大人	1,200	1,200
	中人(高校生)	600	600
	小人(小・中学生)	400	400
	シニア(65歳以上)	1,000	1,000
ベイサイド 夜間割引入場券 ベイサイド有料会場に 18時以降入場できます	大人	前売の販売は ございません	1,200
	中人(高校生)		600
	小人(小・中学生)		400
	シニア(65歳以上)		1,000
ベイサイド 回数割引入場券 6枚つづりのセット券 5/2(土)～5/6(水)、8/8(土)～8/16(日) 9/19(土)～9/27(日)は適用外となります	大人	前売の販売は ございません	13,500
	中人(高校生)		6,900
	小人(小・中学生)		4,500
	シニア(65歳以上)		10,500
ヒルサイド 普通入場券 ヒルサイドに1回入場できます	大人	前売の販売は ございません	600
	中人(高校生)		300
	小人(小・中学生)		200
	シニア(65歳以上)		500
ヒルサイド 全期間入場券 写真貼り付け本人限り、 開催期間中有効で入退場自由	大人	前売の販売は ございません	2,500
	中人(高校生)		1,250
	小人(小・中学生)		800
	シニア(65歳以上)		2,000
ヒルサイド 特別割引入場券、 身体障害者手帳、療育手帳等を 所持する方及びその介護者2名	大人	前売の販売は ございません	300
	中人(高校生)		150
	小人(小・中学生)		100
	シニア(65歳以上)		250
ヒルサイド 回数割引入場券 6枚つづりのセット券 8/8(土)～8/16(日) 9/19(土)～9/27(日)は適用外となります	大人	前売の販売は ございません	3,300
	中人(高校生)		1,600
	小人(小・中学生)		1,000
	シニア(65歳以上)		2,700
ズー割入場券 ズーラシア入場者がヒルサイドエリアに 入場の際の割引入場券	大人	前売の販売は ございません	500
	中人(高校生)		250
	小人(小・中学生)		150
	シニア(65歳以上)		400

※ベイサイド、ヒルサイド回数割引入場券、ズー割入場券は当日出札所のみにて発売。

※入場券は、旅行会社、コンビニエンスストア等でお求めください。

※入場券の種類、料金、販売代理店等の詳しい情報については、協会ホームページをご覧ください。

※ヒルサイド普通入場券には、よこはま動物園(ズーラシア)入場割引券(20%OFF)が添付されています。

Y150入場券はこちらでお求めください

販売箇所	(順不同: 2009年3月30日現在)
■旅行会社 ジェイティービー、近畿日本ツーリスト、日本旅行、相鉄観光、京急観光、農協観光、名鉄観光サービス、プレイガイド 横浜シティ・エア・ターミナル、横浜ツーリスト、マリンツーリスト、とらべるわん、横浜市交通局協会旅行センター 富士ライフツーリスト、東京急行電鉄(東急旅行センターテコプラザ)、小田急トラベル、京王観光、裾花観光バス、 栃木交通ツアー、日本中央旅行、読売旅行(本社・神奈川)、クルーズゆたか倶楽部、 エイチ・アイ・エス(国内旅行取扱店舗)、セラシ、トップツアー、カスミトラベル	
■コンビニエンスストア スリーエフ(神奈川・東京・千葉・埼玉)、セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、サークルKサンクス、 am/pm(CNプレイBOX設置店)、ミニストップ(神奈川)	
■駅・バス等交通機関 東京急行電鉄(駅売店、定期券うりば)、相模鉄道(駅売店)、京浜急行電鉄(泉岳寺駅を除く駅売店、駅改札) JR東日本(神奈川県内および町田・成瀬・熱海・伊東のみどりの窓口および、JR東日本管内すべてのびゅうプラザ。 4月28日以降はJR東日本管内すべてのみどりの窓口)、横浜新都市交通(シーサイドライン新杉田駅窓口、金沢八景駅窓口) 横浜市交通局(地下鉄駅事務室、バス営業所)	
■百貨店・スーパーほか流通関係 イトーヨーカ堂(神奈川・東京)、サティ(神奈川)、高島屋横浜店 有隣堂(本店・横浜駅西口・ルミネ横浜店・戸塚モディ店・川崎BE店)、紀伊國屋書店横浜店、平坂書房 首都高速道路サービス(首都高速パーキングエリア)、西洋フード・コンパスグループ(千葉海ほたるPA店) 江ノ電商事(藤沢・鎌倉インフォメーションセンター)、横浜マリノス(マリノスタウン)、京急百貨店、西田書店本店 ジャスコ(神奈川・東京)、ユニー(アピタ・ピアゴの神奈川、千葉各店舗及び茨城、山梨、静岡、愛知の一部店舗)、 ジェイファルク(都筑上り線売店・保土ヶ谷下り線売店・横須賀上り線売店)、 東急ストア(湘南店・中山店・さざ沼店・中央林間店・自由が丘店)	
■チケットガイド等 チケットぴあ、CNプレイガイド、チケットビューロー、横浜読売プレイガイド、エニー/ちけっとぽーと、 ちけっとらんどANEX(みなとみらい駅改札前)、ローソンチケット、イープラス	
■ホテル・旅館等宿泊施設 メルパルクYOKOHAMA、リッチモンドホテル横浜馬車道、ホテルコスモ横浜、ホテルキャメロットジャパン、ナビオス横浜、 パン パシフィック 横浜ベイホテル東急、新横浜プリンスホテル、ホテルおかだ、ホテルグランドサン横浜、新横浜グレイスホテル、 新横浜フジビューホテル、セントラルイン横浜、横浜国際ホテル、新横浜国際ホテル、スターホテル横浜、横浜エクセルホテル東急	
■各区役所売店 中区・磯子区・保土ヶ谷区・神奈川区・鶴見区・港北区・都筑区・青葉区・旭区・戸塚区・港南区・瀬谷区	
■その他 野毛地区インフォメーションセンター、横浜観光コンベンションビューロー(桜木町・新横浜)、大山ねずの命神社教会、 鶴見大学1号館売店、万葉倶楽部(横浜みなとみらい館)、川和商店街(一部店舗)、 京急緑地開発(ガーデンセンター・京急フルール野比店、フラワーショップ・ブーケダムール上永谷店)、 湘南よみうり新聞社、神奈川県観光協会	

販売箇所により、販売している入場券の種類が異なりますので、ご注意ください。
 入場券の種類、販売店のくわしい情報については協会ホームページをご覧ください。

www.yokohama150.org



さらに、入場券で横浜を150%楽しもう！！

(順不同:2009年3月30日現在)

ベイサイド入場券でおトク！		
下記の割引は、ベイサイド入場券(実券)を提示することで受けられます。		
割引期間:2009年4月28日～9月27日	割引内容	通常大人料金
帆船日本丸 横浜みなと博物館	入館料 50%OFF	600円
三菱みなとみらい技術館	入館料 無料	300円
シルク博物館	入館料 50%OFF	500円
日本新聞博物館	入館料 50%OFF	500円
日本郵船歴史博物館	2館セットで 300円(大人)	500円
日本郵船氷川丸		200円
横浜ランドマークタワー69F展望フロアスカイガーデン	入場料 50%OFF	1000円
ロイヤルウイング	乗船料 50%OFF	2400円
よこはまコスモワールド ※1	利用料 100～200円OFF	300～700円
マリンシャトル(観光船) ※2	乗船料 50%OFF(平日のみ。18:30便は除く)	1,000～1,600円
シーバス(海上交通船)	乗船料 10%OFF	340～700円
神奈川県立歴史博物館	常設展及び特別展の観覧料に 団体割引料金を適用。	-
横浜美術館	企画展の観覧料 100円OFF	1000～1,400円
横浜開港資料館	入館料 50%OFF	200円
横浜人形の家	入館料 大人 100円OFF こども 50円OFF	500～800円
そごう美術館	企画展の入館料 200円OFF	900～1,200円

※1. 2009年5月2日～6日、7月18日～20日、8月1日、8月13日～16日、9月19日～23日は割引除外をさせていただきます。割引適用のないアトラクションがありますのでご了承ください。

※2. マリンシャトルは団体割引適用外となります。

※ 他の割引券との併用はできません。各施設の割引は、入場券をお持ちのお客様お一人、各1回限りです。

※ 各施設により休館日、開閉館時間が異なりますのでご注意ください。また、特別展開催時は、料金変動する場合があります。

※ 無料券、招待券はご使用できません。

(順不同:2009年3月30日現在)

ベイサイド入場券・ヒルサイド入場券でおトク！		
下記の割引は、ベイサイド入場券(実券)、ヒルサイド入場券(実験)どちらでも割引サービスが受けられます。		
割引期間:2009年4月28日～9月27日	割引内容	
新横浜ラーメン博物館	大人(中学生以上)300円	250円
	こども(小学生)、シニア(60歳以上)100円	50円
横浜桜木町ワシントンホテル	レストラン「ベイサイド」ランチバイキング	200円OFF
	ディナー	10%OFF
横浜伊勢佐木町ワシントンホテル	レストラン「アクアマリン」ランチバイキング	200円OFF
IN SPA横浜	レギュラー入館料 ※初回のみ登録料315円(HPより登録で無料)	30%OFF
ジャパン・ピアフェスティバル2009	恵比寿ガーデンホール(6/6～7)当日入場券の	500円OFF
	大さん橋ホール(9/19～21)当日入場券の	500円OFF
横浜F・マリノス4/29～11/29 ホームゲーム(日産スタジアム)自由席1回限り有効	大人2,600円	2,300円
	小中学生900円	600円
パン パシフィック横浜ベイホテル東急	「カフェトスカ」ナイトキッチンスタジアム	400円OFF
	「クイーン・アリス」ディナーコース	800円OFF
横浜エクセルホテル東急	「アール・イー」「孔雀庁」お食事ご利用にて	5%OFF

※他の割引券との併用はできません。

※各施設により休館日、開閉館時間が異なりますのでご注意ください。また、特別展開催時は、料金変動する場合があります。

※ 無料券、招待券はご使用できません。

横浜開港150周年記念テーマイベント「開国博Y150」のマスコットキャラクター「たねまる」のオフィシャルグッズは、2008年4月28日の「開幕1年前イベント」にて販売を開始。記念テーマイベントの開催に向けて公式記念品ショップ(計3店舗)で約2,500品種の品揃えによる本格的な販売を目指し、商品アイテムを拡充しております。

〔取扱商品カテゴリー〕

- ぬいぐるみ ●ストラップ ●根付け
- キーホルダー ●ステーションナリー
- お菓子 ●雑貨 ●ピンズ ●タオル
- ミニハンカチ ●Tシャツ 他

さらに公式記念品ショップでは…

「たねまる」と著名キャラクターとのコラボレーション・グッズの展開や、環境配慮型商品群の「たねまるグリーンレーベル」の展開など様々な企画が予定されています。



2008年12月発売のニューアイテムでは、「たねまる」の絵本がついに登場！タイトルは「ともだちのたね」。また、発売を記念して、絵本の表紙と同じ絵柄の携帯ストラップ、マグカップ、ボールペン、シャープペン、リングノート、ポーチ、ミニハンカチ、等 計16品種のサポート・オフィシャルグッズも販売開始されました。



ひとりぼっちの「たねまる」が、タマクスの木のおじいさんから教わった「ともだちのたね」とは？

横浜の街をずっと見守ってきたタマクスの木の精である横浜開港150周年記念事業のマスコットキャラクター「たねまる」をモチーフにした絵本です。心温まる、ほのぼのした内容で、メインの読者対象を3歳以上のお子様としています。

原作： 森沢明夫
 原画： 加藤美紀
 企画・監修： 横浜開港150周年マスターライセンスオフィス
 版型： A4変形
 ページ： 32ページ／オールカラー
 価格： 1,370円(税込)

※「たねまる」オフィシャルグッズの公式サイト【たねまるドットコム】(www.tanemaru.com)で、商品・販売店の連絡先などをお知らせしています。

取扱商品は各店舗によって異なりますので、お買い求めのお出かけ前に直接各販売店にお問合せ下さい。

また販売店舗・取扱商品・営業時間等は予告なく変更になる場合がございますので合せてご確認の上、お買い求め下さい。

「たねまる」オフィシャルグッズのオンリーショップ、ついにオープン！



「開国博Y150」の開幕まで、2か月余り。

開幕までの期間限定で、より多くの方々に横浜開港150周年記念事業マスコットキャラクター「たねまる」をご愛顧頂くために、「たねまる」オフィシャルグッズを全品種(約300品種)を取り揃えたオンリーショップを2月24日、横浜開港150周年協会 内 1階 横浜港 PRコーナー・奥 に開設しました。

(※4月24日(金)までの期間限定)

全品種の揃った Only & One なショップです！「たねまる 01 ゼロ・ワン ショップ」！！
ぜひお立ち寄り下さい！

- 営業時間：(月)～(金) 11:00 ～ 16:00 (土)(日)(祝) 休業
- TEL: 045-489-4472 FAX: 045-489-4473
- 場所：(財)横浜開港150周年協会 内 1階 横浜港PRコーナー・奥

商品など詳細に関しましては【たねまるドットコム】www.tanemaru.com まで



●「開国博Y150」会期中「たねまる」グッズは、以下 公式記念品ショップ 3 店舗で販売します。

- 【ベイサイドエリア】 赤レンガ広場店 (約500㎡)
Y150 はじまりの森店 (約200㎡)
- 【ヒルサイドエリア】 Y150 つながりの森店 (約200㎡) (一部飲食を含む)

お問い合わせ先 横浜開港150周年 マスターライセンスオフィス
TEL : 045-489-4472 FAX: 045-489-4473
〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港1-6-3
横浜開港150周年協会 内 2階



©Y150